



翁長 雄治さんが語る 沖縄の思い
(故翁長沖縄知事二男、那覇市議)



- ◆ 辺野古に連帯! 多彩な交流で沖縄の今を知る旅
- ◆ 「雪あかり(西和賀)」、「さんさ踊り(盛岡)」など、東北のまつりを堪能
- ◆ 震災・原発事故から8年目の福島、それぞれの思いを受けとめる旅
- ◆ ロシア、バルト三国、イタリアで、芸術と歴史と文化にふれる旅
- ◆ フラワーハイキングのカナダ、音楽と交流のキューバを満喫
- ◆ アウシュビッツで歴史と正面から向き合い、中欧へ、ドイツへ
- ◆ サファリ王国のケニアで、アフリカをもっと深く知る旅
- ◆ 中国、台湾、ベトナム、ミャンマー、ネパール、モンゴル、インドなどアジア各地の旅
- ◆ 車椅子でもOK、カンボジア・アンコールワット遺跡のバリアフリーの旅
- ◆ 3・1 独立運動100周年に訪れる韓国・平和と友好の旅



3・1 独立運動100年&光州事件40年(2020年5月18日)
平和のための博物館ネットワーク(INMP)協賛

植民地歴史博物館と光州を訪ねる韓国 5日間

立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長・INMP代表 安齋育郎先生同行

- 1. 平和学の第一人者、安齋育郎先生全日程同行 日韓の専門家による協力 戦争と平和、日本と世界を考える旅**
立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長で、国際的な平和博物館運動のリーダー・安齋先生。高知の平和資料館・草の家の元事務局長で、韓民族問題研究所対外協力チーム長の金英丸さんによるフィールドワーク。日韓の専門家同行、協力で韓国・朝鮮半島と世界のいま、そして日本を考える旅。
- 2. 植民地歴史博物館や安重根記念館、1987「民主化宣言」関連資料館 植民地支配と軍事独裁 加害の事実、過去と向き合う旅**
2018年にオープンした植民地歴史博物館。膨大な資料で日本による植民地支配の実態を展示。1987年の大統領直接選挙を導いた「民主化宣言」への過程で犠牲となった朴鍾哲(パク・ジョンチョル)と李韓烈(イ・ハニョル)、二人の学生の資料館。日本による侵略から続いた負の歴史。過去と誠実に向き合う旅。
- 3. 5月18日光州事件の現場を訪ね、ソウルと光州で市民運動家と懇談 負の歴史を克服し、民主化、対話と平和へと歩む韓国を知り連帯する旅**
1980年5月18日、民主化を求める多くの学生、市民が犠牲となった光州事件。39年目の5月18日に光州を訪ね、ゆかりの地訪問と関係者との懇談を予定。ソウルでは植民地時代から民主化へと続くフィールドワークと座談会。安齋先生の講演を含め、対話と平和への流れを進める韓国を知り考える旅。

旅行日程	2019年5月16日(木)~20日(月)
定員	35名様(最少催行20名様)
旅行費用	成田発・羽田着161,000円 関空発着156,000円 *燃油・空港諸税、一人部屋代金別途
添乗員	同行します
申込締切	2019年4月10日(水) *満席になり次第締切

- 5/16 成田・関西空港発、仁川空港合流後、ソウル市内へ。植民地歴史博物館見学&関係者との懇談、交流【ソウル】
- 5/17 午前:安重根博物館などソウル市内見学。午後:新幹線で光州へ。着後5・18記念財団など光州事件関係者との懇談(予)【光州】
- 5/18 終日、記念式典参列やゆかりの地訪問【光州】
- 5/19 午前:新幹線で光州からソウルへ。午後:植民地歴史博物館専門員によるフィールドワーク。夕刻:安齋先生講演と韓国市民運動家なども交えた座談会【ソウル】
- 5/20 午前:1987年「民主化宣言」へと結実したゆかりの地訪問。朴鍾哲資料館、李韓烈資料館など。羽田・関西空港へ

【利用予定ホテル】以下または同等クラス:センターマークホテル(ソウル)、光州プラザホテル(光州)
【食事】朝4食3夕3

平和のための 博物館国際ネットワークって?

ポーランドのアウシュビッツ強制収容所博物館、ベトナムの戦争証跡博物館、韓国元日本軍「慰安婦」が暮らすナムの家資料館…。世界で300を超える平和博物館。これら平和博物館を結ぶ橋が「平和のための博物館国際ネットワーク」(INTERNATIONAL NETWORK OF MUSEUMS FOR PEACE: INMP)です。平和に関連した資料の収集、展示、活動を通して平和の文化を促進するとともに、過去の歴史を振り返りながら、現在の問題を考え、未来と平和のために自分が何をしたらよいかを考え話し合う場となっています。

安齋 育郎さん
立命館大学名誉教授。立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長、平和のための博物館国際ネットワーク代表。中国南京国際平和研究所・名誉所長。詩人尹東柱記念碑建立委員会代表。「京都九条の会」代表世話人。

(株)たびせん・つなぐへは郵送、電話、FAX、インターネットからお問合せください。郵送、FAXの場合は下記 予約票 をご利用ください。

お問合せ・申込

東京都知事登録旅行業 第3-6101号

(株) たびせん・つなぐ

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-3-1 北村ビル302 総合旅行業務管理者:大西健一
Eメール: info@tabisen-tsunagu.com Web: http://tabisen-tsunagu.com

企画・実施 **(株) TABi'Z (タビーズ)** 観光庁長官登録旅行業 第1-1906号
〒108-0014 東京都港区芝5丁目13-18 いちご三田ビル

TEL: 03-5577-6300
FAX: 03-5577-6310

ツアー名		予約票		
フリガナ	氏名	生年月日	年 月 日	性別 男・女
住所	〒	電話()	携帯番号	-
E-MAIL (メールアドレス)				
国内連絡先	氏名:	続柄:	住所: 〒	電話() -

○こちらにご記入していただいたお客様の個人情報は、当社から各種ご案内等を送る目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。
・マガジン発送の際に使用しているビニールの封筒は、プラスチックゴミになります。 写真はすべてイメージです

「沖縄の問題は日本全体の問題です」 翁長雄治さん（故翁長雄志知事二男、那覇市議）が語る沖縄の思い



翁長雄治さん

県民のマグマと 能動的に活躍した 若者たち

——本日はお忙しい中、ありがとうございます。お父様（故翁長雄志知事）の遺志を受け継いだ玉城デニーさんの知事選勝利、おめでとうございます。この結果をどうご覧になりますか？ お母様の樹子（みきこ）さんが最終盤の決起集会に登壇したことで「選挙の潮目が変わった」とも言われていますが。

翁長 沖縄県民にとっては、四年前（の知事選）と気持ちの変化があるわけでもなく、これ以上の基地の負担は受け入れられないと

いう思い、僕は「マグマ」と呼んでいるのですが、四年間そのマグマを持ち続けたというだけなんです。

よく母とも話しますが、（潮目が変わったというのは）たぶん違うんですよ、実は。僕は母が出てなくても、まあ八万票差かどうかはわからないですけど、勝った選挙だと思います。

——一方で、宜野湾市の会社に三年勤めていた時に思ったのが、仕事、ヘリコプターの音で僕がびっくりして顔を上げて宜野湾出身の友達を下を向いたまま仕事を続けている。そのくらい彼らにとっては普通のことになっている。生活の中に基地があっただと思えます。強権的に基地建設がおすすめるられる中で、あきらめというか、辺野古作らせて普天間返してもらった方がいいんじゃない、というような論調があるのも確かです。

（基地関連の）事件、事故があったときには、今後自分たちにどう影響してくるのかと悩み、誰も未来永劫このままで良いとは思ってはいません。ただ、ではどうしたら良いのか、本土に向けてどうアピールしたら良いのかが分からない。

——そういう中で、今回の選挙では若い人たちが能動的に活動しました。今までは若い人たちが来ても、言い方悪いですが雑用係のようなことだけをしている感じだったと思います。それがほんとに「今何をすべきか」ということを一生懸命自由に考えて活動してきました。これまでは若い人には選挙も政治も遠いものだったと思うのですが、すごく近いものとして頑張ったのではないかと思っています。

軍事の要でなく平和の緩衝地点に

国道五八号線（那覇軍港、普天間基地、嘉手納基地をつなぐ基地の島・沖縄の大動脈）を走ると、右も左も基地のフェンスなんです。

平和のためなら鬼にもなる

——おじい様の助静さんは、摩文仁・米須原の野ざらしの遺骨を収める「魂魄（こんぱく）の塔」建立の中心人物でした。お父様も選挙の告示日早朝には必ず塔を参拝されましたね。

翁長 父から聞いたところによると、魂魄の意味は「平和のためなら鬼にもなる」という意味らしいです。祖父も父も保守の政治家でしたけれども、当時一緒に遺骨収集した方から保守政治家こそ平和を語らなければだめだと常々聞かされてきました。観光もそうですが、経済をまわす人たちが平和のことを論じないのはあり得ないと。魂魄の塔は、平和の象徴というよりは、沖縄を平和にしていく原点なんだろうと思っています。

——四年間父を見てきて、おそらくデニー新知事はこれから四年間、人生で味わったことのない苦悩の日々を過ごすと思うんですよ。

父は子ども好きで、孫しか生きがいが無かったような無趣味の人でした。そんな男が議会前とか訴訟前になると、孫を連れて行っても部屋から出てこない。（準備のための）勉強を続けて、息抜きのコピータイムに孫の顔を見るだけの生活をしていました。それくらい知事の仕事って責務が重い。

——普天間基地の辺野古移設の賛否を問う県民投票については？

翁長 盛り上がり過ぎてほしいですね。ただ、この問題は、沖縄に基地が必要か必要じゃないかじゃなくて、「日本にある基地」の問題として日本全国で考えてほしいですね。

——本日はありがとうございます。

翁長 こちらこそ、今後ともよろしくお願ひします。



デニーさんの街頭演説

東京から友達が来たときは高速道路を使わずあえてこの道を使い「この状況で、僕らに何を我慢しろと言うのか」と問う。それでも本土の若い人達は「でも沖縄は基地がないと食っていけないんですよ？」と。偏見がいつまでも抜けないんですよ。

実は僕も七年間建設業やったんですが、一度も基地の仕事とったことがないんです。社の方針ってことじゃなくて、とれたことがないんです。辺野古の仕事もやっぱり本土の企業ですし、沖縄は下請けどころか孫請け、ひ孫請けになってしまふ。

——一方この間、観光産業が好調でそれに伴ってホテル等の建設ラッシュが続くというような状況でした。

よく父が言っていましたけれど、沖縄は地理的にもアジアのどの国にも近いので「軍事の要じゃなくて平和の緩衝地点」として考えてもらえたら本当は一番うれしいんですよ。

——そして沖縄の問題は沖縄だけのことというふうには考えるのではなく、ぜひ日本全体の問題として考えてくれたらと思います。

この前、本土の自治体が基地引き取り運動を一度採決してそのあと共産党さんが反故にしましたけど、あれもいったん（基地を）持たせてもらえないものであれば国民的議論の中でアメリカに帰ってもらえない話で、「沖縄に要らないものは全国にも要らない」論では、沖縄の基地問題は解決しないんです。沖縄の問題じゃないんです、日本全体の安全保障の問題なんですから。



魂魄の塔

若者が 活躍した 沖縄知事選挙

玉城デニー後援会若者チームの
リーダー・徳森リマさんに聞きました



徳森リマさん

政党と市民が いっしょにたたかった選挙戦

——今回の沖縄県知事選挙では、リマさんをはじめ若い方々が活躍しましたね。

徳森 私はもともと、島ぐるみ会議の事務局で、集会や辺野古へのバスの手配などをお手伝いしていました。島ぐるみ会議は、いろんな政党や団体が参加していて、市民と議員みんなで作った団体です。その調整役をするようになりました。そして翁長知事が国連に行く際、島ぐるみ会議の中に国連部会を作り、翁長知事とジュネーブにご一緒させていただきました。今回の選挙では、選対青年部の責任者である翁長雄治さん（那覇市議・翁長知事二男）と協力して若いチームをひっばってきました。

今回の選挙の新しいところは、今まで政治を引っ張ってきた政党の方とか議員さんたちにプラスして、市民が一緒にやってきたということだと思います。特に若い層が前に出て頑張ってくれ



デニーさんを「応援する若者たち

だなどという気持ちは共有されていると思います。それは向こう陣営も同じ。基地作られたら嫌と思っても、佐喜眞さんでもデニーさんでもどうせ基地は作られちゃうんじゃないの、という言い方をしている人がいました。そこで、デニーさんを応援したくなるように、デニーさんなら大丈夫と思ってもらえるようにアピールしようと思いました。

もうひとつは、基地反対なのはわかったから、それ以外に何をしてくれるのということをお話しないと駄目だと思って、SNS（フェイスブックやツイッターなど）でも街頭でも、基地問題以外の政策をわかりやすいデザインでアピールしたのです。

基地問題を話すだけでシャットアウトする子もいるんです。「また、その話かよ」という感じで。そこでデニーさんだったら夜間保育の問題とか待機児童の問題も優先的に取り組むって言うてるんですよーとか、バスの無料化とかも訴えてるんですよーとか、生活に密着した政策をどんどん前に持っていききました。

ました。翁長知事が8月に亡くなられた時に、とりえず集まろうと友達とその友達とかを呼んでくれて10名くらい集まったんです。こんなにみんな何か思ってるんだったら一緒に何か行動出来るかもね、というのがきつかけでした。選挙がはじまっていたので、自分たちも応援したいという気持ちでいたら、仲間が30名くらいに結構大きくなっていきました。

「このままじゃだめだ」という 熱い思い

——どんな皆さんが集まったんですか

徳森 基地問題、それに沖縄の文化の事、歴史の事、沖縄と日本は歴史も文化も違うのに、それを学校で教えられてこなかった、このままじゃだめだ、何かしたいって、そう思った思いが潜在的にあった人たちが参加してくれたんだと思います。あと県民投票にかかわってきた人も結構います。名護市長選挙に参加した人たちもいて、やっぱりあの時の悔しさがあって、私たちの活動拠点は那覇ですが名護から来てくれたり、東京に出た人たちが帰ってきてくれたりもしました。

「リマさんーそうしたら、〇〇さんにも会ってほしいです。彼も熱い気持ちを持っているので」「じゃあ連れてきて」というような感じです。

生活に密着した政策を前面に

——実際の選挙戦はどんな感じですか

徳森 今回私たちは、デニーさんの人柄だったりポジティブなイメージをいっぱい押し出していって、みんなデニーさんを応援してるんだよと呼びかけました。あまり正面から基地問題を前面に出すことはしませんでした。若い人たちの中でも、すでに基地は嫌

新しいリーダー像を沖縄に

——デニーさんは親しみのある笑顔で、若者受けも良かったようですね。

徳森 中盤までは、佐喜眞さんが重鎮感を出して、しっかり沖縄経済を支えるというイメージだったと思います。デニーさんの方は、そもそも候補者選定にも時間がかかって出遅れていたの、浸透するのにも時間がかかっていました。また街頭でも、あれは知事候補にしては明るすぎるのではとささやかれたり…。

でも私たち若者チームでデニーさんとお会いした時に「僕のことを軽いつて言う人もいるけれど、僕は知事候補である前に、一人の人間、玉城デニーであり、新しいリーダー像を沖縄に作りたい」とはつきりおっしゃいました。そのときに、やっぱりデニーさんはすごいなと思いました。さわやかなところとしっかりとした芯があるところ、それが私たちに火をつけて、もっとみなさんにデニーさんを知ってもらいたいという気持ちになりました。

——なるほど良くわかりました。今日は、ありがとうございます。



デニーさんを「囲んで



辺野古・高江に連帯
沖縄の歴史に学び、今を知り、未来を考える

慰霊の日に訪れる沖縄 4日間

1. 沖縄の今と歴史、不屈のたたかひの背景が分かる旅

児童公園のフェンスの向こうから飛び立つオスプレイ。異常が日常となっている沖縄の今を、普天間・嘉手納などの基地被害の現場で実地に見学。沖縄戦で学徒招集された元衆院議員・古堅実吉さんのお話。

2. 新たな基地はいらない！ 人々の思いに寄り添う旅

ジュゴンが暮らす美しい海を埋め立てる辺野古新基地、集落を困むように新たに6つのオスプレイ着陸帯が建設された東村・高江などで、地元の人々、支援の人々と交流・連帯し、その思いに寄り添う旅。

3. 豊かな自然に囲まれた「やんばるの森」に宿泊

米軍安波訓練場が一部返還されて整備された、やんばるの森の大自然にたたくむ宿に宿泊。やんばる固有種のヤンバルクイナは繁殖期で、出会えるチャンスも大。沖縄の豊かな自然を実感できる旅。

旅行日程 6月22日(土)～25日(火)
旅行費用 125,000円(羽田発着)
124,000円(伊丹発着)
*一人部屋追加料金23,000円
定員 25名様(最少催行15名様)
添乗員 同行いたします

- 6/22 羽田・伊丹から那覇へ。普天間・嘉手納 **【那覇】**
- 6/23 魂魄の塔、健児の塔、平和記念公園での慰霊の日式典に参加、古堅実吉さんのお話 **【那覇】**
- 6/24 辺野古・キャンプシュワブ前で交流・連帯、東村・高江 **【国頭村】**
- 6/25 やんばるの森を散策、那覇から羽田・伊丹へ

【利用予定航空会社】日本航空または全日空
【利用予定ホテル】沖縄ナハナホテル&スパ(那覇)、やんばるの森(国頭村)
【利用予定バス会社】琉球バスまたは同等クラス
【食事】朝3食3夕3



小笠原好彦先生(滋賀大学名誉教授)同行
2018年世界遺産登録「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

五島列島4日間の旅



●お国自慢シリーズ第一弾

- 5/13 伊丹・羽田空港から長崎空港へ、佐世保港から新上五島町、頭が島天主堂・龍馬ゆかりの広場・海童神社 **【有川】**
- 5/14 青砂ヶ浦教会、今里平家塚、御舟様、中の浦教会、若松大橋公園、日の島石塔群、江上教会、旧五輪教会堂、福江島へ **【五島市】**
- 5/15 井持浦教会、大瀬崎断崖、空海記念碑、遣唐使ふるさと館、水の浦教会、堂崎天主堂、石田城跡、武家屋敷通り **【五島市】**
- 5/16 鬼岳、鐘瀬溶岩海岸、五島観光歴史資料館、福江港から長崎港、長崎空港から伊丹・羽田空港へ



地元出身の足立恵美子さんの五島列島推薦の言葉
古代から大陸との懸け橋

「金の仏様が網にかかった！」そんな話をじいちゃんに聞きました。難破船も見ました。坂本龍馬の帆船が遭難した江の浜には、祈りをささげる龍馬像があります。五島は古代から日本と東アジア大陸とを結ぶ海上交通の要衝としての役割を果たして来たに違いありません。新上五島町には遣唐使が風待ちをした場所があり、航海安全を祈願した神社や石造の御舟(みふね)様など、大陸との交流の足跡が見られます。もしかして、海に潜るとお宝が見つかるような気がする。手つかずの自然だけで、定置網で獲った魚が美味しい！おみやげには椿油を使った「五島うどん」やサツマイモで作った「かんころ餅」をどうぞ。歴史のある教会を覗き回りながら「兵どもが夢のあと」を感じてください。

旅行日程 5月13日(月)～16日(木)
旅行費用 148,000円(羽田発着)
144,500円(伊丹発着)
定員 30名様(最少催行20名様)
募集締切 3月8日(金)
添乗員 同行いたします

【利用予定航空会社】全日空または日本航空
【利用予定ホテル】ホテルマリンピア(有川)、コンネホテルまたはカンパニーホテル(福江島)
【利用予定バス会社】上五島バス、五島自動車(株)
【食事】朝3食4夕3



多彩な交流で辺野古と日本を考える旅 4日間

翁長雄治さん(故翁長知事二男)らと懇談

旅行日程 1月21日(月)～24日(木)
旅行費用 110,000円(羽田、伊丹発着基準)
*一人部屋追加料金27,000円
定員 40名様(最少催行20名様)
添乗員 同行いたします

- 1/21 羽田・伊丹から那覇へ。魂魄の塔、平和祈念資料館、古堅実吉さんのお話 **【那覇】**
- 1/22 緑ヶ丘保育園でお母さんたちと交流、嘉手納基地視察、翁長雄治さんのお話 **【那覇】**
- 1/23 辺野古・キャンプシュワブ前で終日交流・連帯、青年たちとの懇談 **【那覇】**
- 1/24 琉球新報記者との懇談、那覇から羽田・伊丹へ

【利用予定航空会社】日本航空、全日空
【利用予定ホテル】沖縄ナハナホテル&スパ
【利用予定バス会社】琉球バス
【食事】朝3食2夕3

沖縄の未来を破壊する辺野古の新基地建設 嘉手納・普天間で基地被害の現状を体感 地元紙記者との懇談・交流で 沖縄の今を知る旅



1. 沖縄の未来を破壊する辺野古の新基地建設

米軍新基地建設のための埋め立て工事が再開された辺野古で、地元の皆さんと交流・連帯。海上から工事の状況を視察(予定)します。辺野古の最新状況について、地元紙記者との懇談・交流も。

2. 基地被害の実態を体感・見聞

米軍属に殺害された女性の遺体遺棄現場、嘉手納基地に隣接し日夜騒音被害に苦しむ民家の屋上や米軍機からの落下物があり園児たちの命が危険にさらされた保育園などを訪れ、基地被害の実態を体感・見聞します。

3. 豊かな自然、食と文化も堪能

やんばるの森の豊かな自然と、オスプレイ着陸帯が建設された東村・高江の現状を映像と解説で。沖縄の郷土料理とサンシンの演奏も堪能します。

- 3/12 羽田・伊丹から那覇へ。魂魄の塔、平和祈念資料館、古堅実吉さんのお話 **【那覇】**
- 3/13 辺野古・キャンプシュワブ前で交流・連帯、恩納村の女性遺体遺棄現場で献花 **【読谷】**
- 3/14 チビチリガマ、恨の碑、「さとうきび畑」の歌碑、嘉手納、普天間 **【那覇】**
- 3/15 地元のジャーナリストと懇談・交流、那覇から羽田・伊丹へ

旅行日程 3月12日(火)～15日(金)
旅行費用 118,000円(羽田発着)
113,000円(伊丹発着)
*一人部屋追加料金25,000円
定員 25名様(最少催行15名様)
添乗員 同行いたします

【利用予定航空会社】日本航空または全日空
【利用予定ホテル】沖縄ナハナホテル&スパ(那覇)、モリマーリゾートホテル(読谷)
【利用予定バス会社】琉球バスまたは同等クラス
【食事】朝3食3夕3



池田香代子さん同行
李政美さんコンサート参加 **花岡事件慰霊式参加と友好の宴**

秋田大館・小林多喜二のふるさとの旅 3日間



旅行日程	2019年6月29日(土)～7月1日(月)
旅行費用	92,000円(羽田発着基準) 94,000円(伊丹空港発着基準) *一人部屋追加料金15,000円
定員	20名様(最少催行10名様)
添乗員	同行いたします(羽田空港または伊丹空港発着)

1. 花岡事件

1945年6月30日花岡鉱山に強制連行された中国人労働者が蜂起しその後鎮圧。暴行、虐殺を含め400人が死亡。加害の歴史に対して自治体として慰霊式を毎年行う大館市の真摯な姿勢から多くのことを学びます。また韓国徴用工訴訟の問題で揺れる今、鹿島建設との間での2000年11月の和解についても考え、資料館建設などをおこなったNPO花岡平和記念会から歴史を学びます。

2. 大館と言えば、小林多喜二や秋田犬

「蟹工船」などで有名なプロレタリア作家・小林多喜二は、1903年10月3日この地に誕生しました。下川沿駅の生誕の地石碑や公民館の資料などを見学。また、秋田犬会館を訪れて秋田犬に癒されます。

3. 李政美さんコンサートに参加

花岡鉱山では、落盤事故により韓国人労働者が生き埋めになりました。李政美さんの歌は、鎮魂の響き。中国、韓国、日本の友好の証です。また中国から招聘された遺族の方とも交流する夕食会に参加します。

4. 北鹿ハリストス正教会、日本最古の芝居小屋

山下り人が描いたイコンが残る北鹿ハリストス正教会を訪れ、日本最古の芝居小屋、康楽館にて昼食をとりながらお芝居を鑑賞します。(プログラム未定)



- 6/29 東京羽田空港、伊丹空港など各地から青森空港で合流、北鹿ハリストス正教会、小林多喜二生誕の地石碑、下川沿公民館多喜二コーナー、秋田大会館と石田ローズガーデン、安藤昌益記念碑とお墓、日中友好歓迎セレブション **【清風荘】**
中国殉難烈士慰霊の碑が建つ十瀬野公園にて大館市主催の慰霊式に参加、フィールドワーク(花岡川の労働現場、信正寺、中山寮跡、花岡記念館、獅子が森)、李政美さんコンサート **【清風荘】**
- 6/30 中国人強制連行フォーラム、日本最古の芝居小屋、康楽館にて芝居見学、青森空港から羽田空港、伊丹空港など各地へ
- 7/1

【利用予定航空会社】日本航空
【利用予定ホテル】清風荘
【食事】朝2昼2夕2

「生命尊重行政」の岩手県旧沢内村(現西和賀町)で
食と文化と人々とふれあい
幻想的な「雪あかり」を堪能する旅 3日間




旅行日程	2019年2月8日(金)～10日(日)
旅行費用	46,900円(北上駅発着基準)
定員	20名様(最少催行15名様)
添乗員	同行いたします

1. 深澤村長(当時)の「生命尊重行政」を受け継ぐ西和賀町

約60年前、「豪雪、多病多死、貧困」の三重苦にあえぐ岩手県沢内村(当時)では、深澤晟雄村長の「生命尊重行政」という理念のもと、乳児と老人の医療費を無料化。その精神を受け継ぐ西和賀町で「いのちの行政」を交流します。

2. 雪の町に灯る2万本のロウソクで幻想的な世界が広がります

広場の大きなモニュメントから家々の軒先の小さなものまで、2万本のロウソクの灯が「雪あかり」となって町中が幻想的で素朴なあたたかさ。納豆汁や甘酒などのおもてなしにも、ほっこりとなごみます。

3. 郷土料理や甚句・さんさ踊りで沢内の食と文化を堪能

郷土料理を、地元のおかあさんたちがふるまいます。昭和の初めに全国に広まった沢内甚句を歌自慢が披露し、沢内さんさ踊りは手ほどきを受けて一緒に踊ります。

- 2/8 東北新幹線・北上駅集合、輝け「いのち」ネットワーク高橋典成代表のお話、郷土料理で交流、沢内甚句・沢内さんさ踊りの披露・体験 **【西和賀】**
- 2/9 深澤晟雄資料館、西和賀さわうち病院、雪あかり・製作体験と鑑賞 **【西和賀】**
- 2/10 かんじきを使って雪中散歩、北上駅解散

【利用予定ホテル】一城
【利用予定バス会社】西北交通
【食事】朝2昼2夕2

「満さん・賢治友の会」
岩手盛岡・紫波の旅



宮沢賢治の親友『セロ弾きのゴーシュ』のモデル藤原嘉藤治顕彰
嘉藤治長男の嫁・艶子さん追悼(2018年5月没)
賢治・嘉藤治のレコードコンサートと盛岡さんさ踊り観覧

1. 賢治の親友・嘉藤治を顕彰

花巻高女の教員時代に賢治と知り合い、賢治没後は『宮沢賢治全集』の編纂に携わった藤原嘉藤治を顕彰。『銭形平次』の作者・野村胡堂の「あらえびす記念館」で胡堂が集めた賢治・嘉藤治が聞いたのと同じ音源のSPレコードを蓄音機で鑑賞します。

2. 「天然の舞台」で艶子さん追悼

嘉藤治は賢治の遺志を継いで農民として開拓に挑みますが、その志を継いだのが長男とその嫁・艶子さん(2018年5月没)でした。嘉藤治とともに『賢治全集』の編纂に加わった高村幸太郎はこの地を訪れ「わっ、この眺め!ここは天然の舞台じゃないか!」と称賛。その舞台で艶子さんを追悼します。

3. 賢治の詩にも詠われた「さんさ踊り」を観覧

東北4大祭りの一つ盛岡さんさ踊りを棧敷席で観覧。東北の夏を満喫します。



旅行日程	8月2日(金)～4日(日)
旅行費用	58,500円(盛岡発・新花巻着基準) *一人部屋追加料金15,000円
定員	40名様(最少催行25名様)
添乗員	同行いたします

【利用予定ホテル】ホテル紫苑(盛岡隣温泉)、ラフランス温泉館(紫波)
【利用予定バス会社】岩手県北バス
【食事】朝2昼1夕2

- 8/2 盛岡駅集合、岩山公園、鶴彰の墓、三閉伊一揆指導者・畠山太助の墓、さんさ踊り観覧 **【盛岡】**
- 8/3 あらえびす記念館でレコードコンサート、紫波町内見学 **【紫波】**
- 8/4 嘉藤治の開拓地(現ポラーノの広場)で艶子さん追悼、新花巻駅で解散

池田香代子さん(ドイツ文学翻訳家)と行く8年目の福島
転職したTVマン **その思いを受けとめる旅 4日間**
農業再建をめざす青年
町の復興のいま



1. 福島で暮らす人びと、それぞれの思いを受けとめる旅

全村避難から帰村2年目の飯館村では地元のお母さんたちや福島の現状をリアルに伝え続けてきたTVマンから村職員に転職した方のお話、南相馬市では避難先から戻り生まれ育った同地で農業を再開したいと頑張る青年のお話などをうかがい、それぞれの思いを受けとめます。

2. 被災8年目の福島の現状

飯館村や南相馬市小高区、浪江町や双葉町、相馬市原釜漁港周辺などを地元の方の案内で訪問、かつて避難を余儀なくされた地域では帰還人口が低迷するなか、インフラやなりわいの再生はどこまで進んでいるのか。再建なった松川浦大橋も渡橋し、復興のいまを見つめます。

3. すべてが被災地支援に結びつく旅

甚大な被害から立ち上がって頑張る宿やお店がみなさんをおもてなし。さまざまな工夫や努力で新たな一歩を踏み出した人びとを応援します。

旅行日程	2019年3月9日(土)～11日(月)
旅行費用	56,500円(東京駅発着、専用バス利用)
定員	40名様(最少催行25名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	2月8日(金)

- 3/9 東京駅から専用バスで飯館村へ。地元の皆さんの手づくり昼食で交流し、再建されたオオカミ天井絵も見学 **【相馬】**
- 3/10 南相馬市小高区、浪江町、双葉町などを見学。被災地で農業再建に携わる青年と交流 **【相馬】**
- 3/11 相馬市伝承鎮魂記念館を見学し、松川浦大橋を渡橋。国道6号線を南下して事故原発の近くを通り、沿線の状況を視察。富岡で地震発生時刻に黙とうし、帰京

【利用予定ホテル】下記または同等クラス
【利用予定バス会社】なぎさの夜夕鶴(相馬)
【利用予定バス会社】オーブ観光バス
【食事】朝2昼3夕2

- 3/9 東京駅から専用バスで飯館村へ。地元の皆さんの手づくり昼食で交流し、再建されたオオカミ天井絵も見学 **【相馬】**
- 3/10 南相馬市小高区、浪江町、双葉町などを見学。被災地で農業再建に携わる青年と交流 **【相馬】**
- 3/11 相馬市伝承鎮魂記念館を見学し、松川浦大橋を渡橋。国道6号線を南下して事故原発の近くを通り、沿線の状況を視察。富岡で地震発生時刻に黙とうし、帰京

【利用予定ホテル】下記または同等クラス
【利用予定バス会社】なぎさの夜夕鶴(相馬)
【利用予定バス会社】オーブ観光バス
【食事】朝2昼3夕2

早川千晶さんと行く ケニア スタディツアー

10日間

ドゥルマ民族伝統文化体験、キベラスラム
ナイロビ国立公園サファリ



1. ナイロビ最大のスラム「キベラ」訪問

ケニアでは貧富の格差、エイズなど多くの問題が山積み。そうした問題に立ち向かい、助け合って生きる人々の生命力に満ちた貧民街「キベラ」で、スラムの駆け込み寺・マゴンスクールを訪問。

2. ドゥルマ民族の伝統文化を体験

先祖や精霊たちとのつながりを大切にしているドゥルマ民族。生活に欠かせないンゴマ（音楽）、聖地カヤには神と交信するバオバブの聖木、精霊の力で病気を治療するカヤンバなどを体験。

3. ナイロビ国立公園でサファリ

中心部から車で10分で、高層ビル群を背景にして大型野生動物の写真が撮影できる珍しいスポット。

旅行日程	8月8日(木)～17日(土)
旅行費用	398,000円
定員	12名様(最少催行5名様)
添乗員	同行いたしません。ナイロビより早川千晶さんが案内
申込締切	7月8日(月)

- 8/8 夕刻成田発、中東経由でナイロビへ 【機中】
- 8/9 午後ナイロビ着、千晶さんと合流、マキンドゥへ移動 【マキンドゥ】
- 8/10 ワタムへ移動(約7時間) 【ワタム】
- 8/11 サラサメリ村へ移動。ドゥルマ文化体験。ダガムラへ移動。ドゥルマ民族の伝統家屋に宿泊 【ダガムラ】
- 8/12 ダガムラ散策、カヤ(聖地)訪問、小学校訪問。夜はンゴマ・ザ・ベボ(精霊おろしのンゴマ)の予定 【ダガムラ】
- 8/13 ダガムラからマリンディへ、マリンディからサガラへ 【サガラ】
- 8/14 希望者はサガラでウォーキングサファリ。サガラからナイロビへ(約6時間) 【ナイロビ】
- 8/15 キベラスラム訪問 【ナイロビ】
- 8/16 ナイロビ国立公園でサファリ。終了後空港、帰国の途に 【機中】
- 8/17 中東経由、成田着



【利用予定航空会社】
エミレーツまたはカタールまたはエディハド航空
【利用予定ホテル】
サバンナパラダイスホテル(マキンドゥ)、オーシャンズボートリゾート(ワタム)、ダガムラホームステイ(ダガムラ)、サガラロッジ(サガラ)、パナフリックホテル(ナイロビ)
【食事】朝5食1夕3

旅行日程	8月25日(日)～9月2日(月)
旅行費用	563,000円(成田空港発着基準) *燃油・空港諸税、ケニアビザ代等別途
定員	12名様(最少催行各6名様)
添乗員	同行いたしません。ナイロビより永松さんが案内
申込締切	6月21日(金)(残席わずか)

- 8/25 夕方成田を出発【機中】
- 8/26 中東経由でナイロビへ。ナイロビ空港着後、サファリをしながらアンボセリ国立公園へ。ロッジ着 【アンボセリ】
- 8/27 朝のゲームドライブ。サファリをしながらナイロビへ 【ナイロビ】
- 8/28 マサイマラへ移動。午後ロッジ着。午後のゲームドライブ 【マサイマラ】
- 8/29 真紀さんが嫁いだマサイの村でウォーキングサファリやマサイ族との交流 【マサイマラ】
- 8/30 マサイマラ国立保護区でたっぶりゲームドライブ 【マサイマラ】
- 8/31 朝のゲームドライブ後、ナイバシャ湖へ移動。午後ナイバシャ湖でボートサファリ 【ナイバシャ】
- 9/1 ナイバシャからナイロビ空港へ。帰国の途に 【機中】
- 9/2 中東経由で日本着



【利用予定航空会社】
エディハド航空
【利用予定ホテル】
下記または同等クラス
アンボセリセレナロッジ(アンボセリ)、パナフリックホテル(ナイロビ)、マラセリナロッジ(マサイマラ)、レイクナイバシャボートリゾート(ナイバシャ)
【食事】朝6食5夕6

マサイ族第三夫人 永松真紀さんが 案内するケニア

9日間 アンボセリ
ナイバシャ湖
マサイマラ
3連泊

1. マサイ族第二夫人・永松真紀さんが全日程同行

マサイの伝統を守りながら、外の世界との橋渡し役・永松真紀さんが同行。観光のマサイではない、本物のマサイの土地を歩きながら、命について共に考えます。

2. 日本人に人気のロッジでゆったり、たっぶりサファリ

生物多様性では群を抜くマサイマラ国立保護区、キリマンジャロの麓に広がるアンボセリ国立公園、ボートサファリが魅力のナイバシャ湖。たっぶりサファリを楽しみ、真紀さんが嫁いだ村も訪問。

3. ベストシーズンに行くケニア

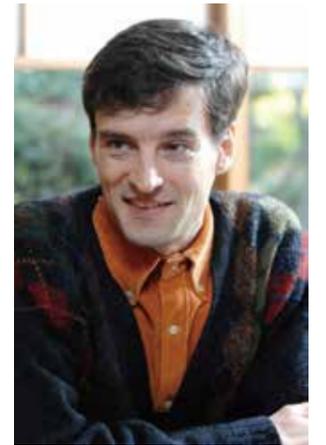
7～8月はヌーの川渡りを見ることが出来る絶好のチャンス! 乾季で動物が最も活発となり、草食動物、肉食動物ともに出会う機会が増えます。

アーサー・ビナードさんと行くケニア マサイの村と たっぶり サファリ

詳細は
近日発表

10日間

旅行日程	9月2日(月)～9月11日(水)
旅行費用	近日発表
定員	18名様(最少催行10名様) *マサイの村宿泊は先着12名様



ザトウクジラのベストシーズンに行く 世界遺産小笠原・父島6日間

お仲間、ご家族、お一人でも!

モデルプラン

父島コース

- 1日目 11時竹芝から小笠原へ出港(おがさわら丸で24時間) 【船内泊】
- 2日目 11時小笠原父島到着。午後小笠原の自然や絶景ポイントを見学 【父島】
- 3日目 世界自然遺産の森をウォーキング 【父島】
- 4日目 海上でイルカやクジラをウォッチング。無人島「南島」上陸予定 【父島】
- 5日目 船出発まで自由行動。15時半父島を出発し東京へ 【船内泊】
- 6日目 15時半竹芝着

日程 ◆おがさわら丸の運航スケジュールに合わせて最短5泊6日
旅行費用 ◆145,000円(竹芝ふ頭発着基準)
※手配する宿によって金額は前後します。上記、あくまでモデルプランのため、どのアクティビティを付けるかもご選択いただけます。

添乗員 ◆同行いたしません。
●利用ホテル
お問合せいただいた時点で取れる宿をお手配します。
●食事 朝2食3夕2
*おがさわら丸2等寝台利用基準、現地民宿2名以上で1室利用、バス、トイレ共同

小笠原はザトウクジラのベストシーズンである1月後半から3月の旅がおすすめです。

添乗員なしでも現地で優秀な山ガイド・海ガイドがサポートしてくれるため個人旅行がしやすい場所。1～3月はベストシーズンのため、良い宿を押さえるためには早めの予約が必須です。ご興味のある方はお早目にお問合せください。母島ツアーもお手配可能です。

ゆったりと世界遺産の自然を満喫!

小笠原諸島は、大陸と一度も陸続きにならなかったことがないため、海流、風、鳥などによって運ばれてきた動植物は独特の進化を遂げました。原生状態を保つ亜熱帯の森を歩き、固有の動植物をウォッチングしながら進むハイキングは、驚きと感動でいっぱい!

ボニンブルーが美しい海でクジラ&イルカウォッチング。天気が良ければ、水平線に沈む夕日を眺め、夜は満点の星空で自然のプラネタリウム。島の中はのんびりと贅沢な時間が流れています。

上陸制限のある無人島「南島」へ

上陸人数(1日100名)を制限しながら自然環境の保護と回復をすすめている小さな無人島「南島」への上陸がおすすめ。石灰岩特有の特殊な地形をご堪能いただけます。
※上陸ポイントは棧橋などの設備はございません。また、船から飛び移る形での上陸後、岩肌を3m程よじ登る必要があります。
※海況などの諸事情や船長の判断で、上陸できない場合がございます。
※クジラやイルカなどの野生動物には会えない場合もございます。

モスクワ国際バレエコンクール 金賞の大川航矢さんに聞く



大川航矢さんと寺田翠さんの華麗な舞

四年に一度の世界有数のバレエコンクールとして知られるモスクワ国際バレエコンクールで二〇一七年六月、男性シニア部門のデュエットで大川航矢さん(当時二十五歳)と青森市出身の金賞に輝き、大川さんとデュエットした寺田翠さん(当時二十四歳)と大阪府豊中市出身の女性シニア部門のデュエットで銅賞に輝きました。

日本人男性では、一九九三年に岩田守弘さん(元ボリショイ劇場第一ソリスト)が金賞を獲得して以来の快挙となります。その大川航矢さん(ロシア国立ノボシビルスクバレエ団ソリスト)にインタビューしました。

主要都市はどこも芸術の街

Q ロシアに住んでから、何年くらいになりますか?どんな街で暮らしたのですか?

大川 ロシアに住み始めたのが十一年前で、最初は、留学のためモスクワに四年、そこからウクライナのオデッサに三年弱、そしてロシア連邦タタールスタン共和国の首都であるカザンに四年、そして今はノヴォシビルスクに住みはじめて一年目です。

Q ロシアでは、どの街が好きですか?住んだことがある場所とそうでないところでも。

大川 ロシアで住んだ街はどこも綺麗なところばかりでした。ロシアの街の素晴らしいところは、芸術の街だということです。美しい建築物や美術館・博物館、そしてバレエやオペラなどの会場は大きな都市には必ずあります。特に素晴らしいと思ったのはサンクトペテルブルグとカザンです。カザンはトルコ系タタール人の文化とロシア文化が混じり合ったユニークな街です。

ダーチャで過ごす休日も

Q 休みの日は、何を?

大川 今現在、新しい就職先で慣れないことだらけなので休みは極力アクティブなことはせずに身体を休めることにしています。カザンや以前の街にいた時はロシア人の友達にダーチャ(菜園付きのセカンドハウス)に連れて行ってもらったこともありましたが、仕事終わりに車で街の外れまで一時間くらいかけて行って、みんなでごはんの準備をしたりシャシユリクという肉の串焼きなどをバーベキュー形式で作ったりします。その後はロシア式サウナのバーニャに入ります。

レベルの高いロシアのバレエ

Q モスクワ国際バレエコンクールで金賞に輝いた時のお気持ちは?

大川 受賞したときは正直信じられない気持ちでした。やはりバレエは、容姿がとても重要です。その中でスタイルの悪い僕が受賞できたのはとても幸運なことだと思います。支えてくれた周りの方に感謝しています。

Q バレエで、日本とロシアの違いはなんでしょうか?

大川 ロシアの場合、やっぱり一般のお客様がとても身近に感じています。例えば、家族で夜出かけようとなった時に、「映画にする?それともバレエ?オペラ?」などと言うくらい舞台芸術が身近な文化になっていると思います。ロシアの主要都市には国立のバレエ学校があります。なので、バレエのレベルももちろん凄く高いです。

Q 今後の目標は?

大川 新たなバレエ団で新しいバレエの役をたくさん踊って、経験をどんどん増やしたいと思っています。

Q ありがとうございます。



ロシアで活躍する若きバレエダンサー大川航矢さんとの交流 シベリア鉄道とバイカル湖 ロシア民謡のメロディー

シベリア物語

6日間



1. 世界にはばたく日本人ダンサーとの交流

バレエと言えばロシア。そのロシアでの国際コンクールで堂々の金賞に輝いた大川航矢さん。ロシアでプロとして活躍を続ける大川さんと交流します。

2. 地平線が見える大地を走るシベリア鉄道の旅

モスクワからウラジオストークまで特急列車でも1週間かかるシベリア鉄道。そのうちシベリアのど真ん中のノボシビルスクからイルクーツクまでの32時間を体験。地平線の彼方にいつまでも沈まない夕日とともに旅します。

3. 神秘的湖バイカル湖

水深1634メートルで世界一、琵琶湖の46倍、透明度世界一、世界の淡水の5分の1の水量、世界自然遺産のバイカル湖。クルーズや淡水に生息する珍しいバイカルアザラシが見られるバイカル湖博物館など見学。

旅行日程	2019年6月2日(日)~7日(金)
旅行費用	248,000円(成田発着基準) *一人部屋追加料金30,000円
定員	15名様(最少催行10名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	4月2日(火)

- 6/2 成田からノボシビルスクへ。市内観光、大川航矢さんとの交流【ノボシビルスク】
- 6/3 国立オペラ・バレエ劇場(外観)、シベリア鉄道にて出発【車内泊】
- 6/4 シベリア鉄道の旅を満喫。夜、イルクーツク到着【イルクーツク】
- 6/5 新緑の木造建築博物館、バイカル湖クルーズ、バイカル湖博物館【イルクーツク】
- 6/6 イルクーツク市内観光、デカプリストの家、ロシア民謡の夕べ、帰国の途【機内泊】
- 6/7 イルクーツク→ウラジオストーク→成田

【利用予定航空会社】シベリア航空
【利用予定ホテル】下記または同等クラス:ミロテル(ノボシビルスク)、イルクーツク(イルクーツク)
【食事】朝4 昼4 夕5





山々にこだまする ヤノステイン一家の歌声

サウンドオブミュージックの世界

まるで

スロバキア・オラワ地方のズベレットツは、西タトラ山脈に位置しています。ズベレットツ民俗野外博物館には築百年の木造の家が立ち並び集落があり、管理人のヤノステイン一家は、家禽を飼い、畑を作り、昔の風景と音楽・舞踏を伝承しながら生活しています。

父親のリハルトと母親のマルケタは、民俗音楽・舞踏を通じて出会い、三人の子どもをもうけました。

長男ビクトルは十八歳、ブラハ芸術学校高等部四年生でバイオリンを勉強中です。次男ルカーシュは十四歳、地元の小学校八年生でバイオリンを弾きます。長女のマルタ十歳はピアノを弾き、母親の働く芸術学校の五年生です。

親元を離れた長男のビクトルは、身長百八十センチのイケメンに成長。月に2回は帰省するのですが、家族はこの2回の週末が待ち遠しい。薪割り、家屋の掃除や修理、草刈り、畑や家畜の世話など、帰省した息子がそれらを手伝う姿を頼もしく、誇りに思っで見つめると同時に、それ以上に、一家そろって演奏と舞踏を披露できることが、何よりもうれしく感じるのでした。

父の野太い声が歌い、母の伴奏と優しいまなざしが子どもたちの呼吸を整えます。

長男のビクトルと末っ子のマルタの身長差はおとなと子どもほどですが、マルタのスカートが花開き、兄の歩幅に懸命についてゆく姿は微笑ましくも美しい。まるで蝶々がひらひら飛んでいるかのように見えます。

斧を頭上で回し、ひざ下で回してジャンプする踊りは、曲中三十回は繰り返します。弟のルカーシュも幼いころから踊り続けていますが、久しぶりの兄との対決には、「どちらも負けるな！」と皆が手に汗を握ります。

二人の息子がたくましく成長し、母のスカートの子を握っていた少女が草原の真ん中で風となつて踊る。「まるで『サウンドオブミュージック』のトラップファミリーを見てみたい」との驚嘆の声も。

いつもの音楽を奏で、いつものように踊る。それがこの家族が一つになれた幸せの時間なのでした。



黄金の秋、革命と芸術のロシア モスクワ 7日間 サンクトペテルブルグ

旅行日程 10月4日(金)～10日(木)
旅行費用 298,000円(成田発着基準)
*一人部屋追加料金49,000円
定員 15名様(最少催行10名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 7月31日(水)

- 10/4 成田からモスクワへ 【モスクワ】
- 10/5 モスクワ市内観光、クレムリン、ボリショイ劇場 【モスクワ】
- 10/6 レーニンスキエゴールキー、午後サンクトペテルブルグへ 【サンクトペテルブルグ】
- 10/7 エカテリーナ宮殿、サンクトペテルブルグ市内観光 【サンクトペテルブルグ】
- 10/8 エルミタージュ美術館、レニングラード包囲と防衛博物館 【サンクトペテルブルグ】
- 10/9 サンクトペテルブルグ→モスクワ経由で帰国の途に 【機中】
- 10/10 成田着

【利用予定航空会社】日本航空・シベリア航空(ONE WORLD)
【利用予定ホテル】下記または同等クラス:ミラン(モスクワ)、ソコスオリンピア(サンクトペテルブルグ)
【食事】朝5食4夕4

ポツダム宣言調印の9月2日をサハリンで迎える歴史の旅 韓国とサハリンの旅 5日間



旅行日程 8月30日(金)～9月3日(火)
旅行費用 178,000円(成田発着基準)
176,000円(関空発着基準)
*一人部屋追加料金38,000円
定員 20名様(最少催行10名様)
添乗員 同行いたします
(成田または関空発着)

- 8/30 成田・関空から韓国仁川空港合流、仁川市内観光(旧日本人街など) 【仁川】
- 8/31 ソウルからユジノサハリンスクへ、市内観光(日本領時代の建物郷土博物館など) 【ユジノサハリンスク】
- 9/1 『銀河鉄道の夜』の「白鳥湖」、韓国人残留者の遺族と交流の夕べ 【ユジノサハリンスク】
- 9/2 市内観光、昼食後、ソウルへ 【ソウル】
- 9/3 ソウル植民地歴史博物館、ソウルから成田・関空へ

1. サハリン在住韓国・朝鮮人との交流
植民地時代、日本による朝鮮人の徴用は遠く南樺太(サハリン)にまで及び、戦後日本人の多くは引き揚げ、朝鮮人は取り残されました。極寒の地で生き抜いた残留者の遺族との交流の旅。
2. 多民族の文化が融合する街
宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』のモデルとされ、間宮林蔵が探検し、『かもめ』『桜の園』等で有名なチェーホフも訪れた地・サハリン。多民族の文化が融合する不思議な街を旅します。
3. ソウルでは植民地歴史博物館見学
最終日にはソウルで、2018年にオープンした、植民地の歴史をテーマにした世界で唯一の博物館をじっくりと見学。



【利用予定航空会社】アジアナ航空
【利用予定ホテル】ロイヤル(仁川)、ガガーリン(ユジノサハリンスク)、センターマーズク(ソウル)
【食事】朝4食4夕4

きたがわてつさんと行く!

平和・音楽・交流の中欧の旅 8日間

～ウィーン・スロバキア・アウシュビッツ～



旅行日程 2019年5月14日(火)～21日(火)
旅行費用 398,000円(成田発/羽田着基準)
 ※燃油・空港諸税、一人部屋追加料金別途
定員 25名様(最少催行20名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 3月1日(金) 定員になり次第締切

1. 平和を歌い続けてきた歌手・きたがわてつさんと訪ねる中欧

旅の始まりは「音楽の都」ウィーン。シェーンブルン宮殿など世界遺産見学の後、ギター一本どこでもステージに早変わりするてつさんとともにホイリゲ(ワイン居酒屋)での音楽三昧。素晴らしい夜のひと時を過ごします。

2. 家族の温もりと音楽に包まれたスロバキアの田舎を満喫

羊が群れる山の牧場や15世紀初頭に建てられた木造教会、家庭訪問でのプライベートコンサート&学校訪問。すべてスロバキア在住25年の日本人・邦子さんがアレンジ。音楽と人の温もりにあふれたスロバキアの旅。

3. アウシュビッツ、ビルケナウ&国際青少年交流センター訪問と懇談

ただの「観光」ではなく、歴史の過ちと犠牲者の思いに向き合うアウシュビッツと「第二収容所」ビルケナウ。ポーランド人ガイド・アンナさん(右頁)の解説とともに、国際青少年交流センターではドイツ人、ポーランド人、そして国際ボランティアなど、真剣にアウシュビッツに向き合う各国青年とも懇談。

きたがわてつさんからのメッセージ

僕も大好きな町・音楽の都ウィーンから旅は始まります。美しい自然と素朴な人たちが待つ、初めて訪れるスロバキア。この地に嫁ぎ、5人の母となった邦子さんが人脈をフル活用し僕らを迎えてくれます。学校&家庭訪問、木造教会でのコンサートなど今からワクワクが止まりません。旅の締めくくりはアウシュビッツ。正直、向き合うには勇気がいります。でも、戦争と平和を歌い続けてきた僕にとっては必然だと思っています。日本や世界のこれからの平和のあり方を一緒に考え、平和への思いを新たにできる機会になればと思います。大いに歌い、踊り、学び、笑って泣いて、ひと味違う旅を是非一緒にしましょう!

●きたがわてつ

岩手県北上市生まれのソカ・ソカライター。1983年、『日本国憲法前文』を発表。『九条』[此の国の有る国]は核兵器廃絶を願う人々の愛唱歌になっている。2010年、NPT30周年行動・国際平和会議のファイナルで演奏。音域の広いソカな歌声と、人間に対する優しさ、気取りのない素朴な人柄と礼拝ソカな行動力が魅力。

- 5/14 成田発、直行便でウィーンへ **【ウィーン】**
- 5/15 ウィーン市内観光(シェーンブルン宮殿、旧市街など)、夜はホイリゲで歌って踊って **【ウィーン】**
- 5/16 国境を越え、スロバキアの片田舎ソビークへ。学校訪問、一般家庭で昼食&音楽交流 **【ハンズカー】**
- 5/17 スピッシュ城、レボッチャを見学し、タトラ山麓へ。羊小屋で夕食 **【タトラ山麓】**
- 5/18 ズベレッツ野外博物館の木造教会できたがわてつさんコンサート。タトラ峠を越え、ポーランドのクラクフへ **【クラクフ】**
- 5/19 アウシュビッツ強制収容所見学、国際青少年交流センターで交流。クラクフ市内観光 **【クラクフ】**
- 5/20 午前:自由行動。午後:フランクフルト経由で帰国の途に **【機中】**
- 5/21 羽田着



【利用予定航空会社】 オーストリア航空、ルフトハンザ航空
【利用予定ホテル】 下記または同等クラス: Hilton Vienna (ウィーン)、Urpiln city residence (ハンズカー)、Hotel Lomnica(タトラ山麓)、Radisson Blu Hotel(クラクフ)
【食事】 朝6食5夕食

母から娘へ

アウシュビッツの思い

アウシュビッツガイドのアンナさんに聞く

鮮明だったアウシュビッツの「痛み」

私が初めてアウシュビッツの案内をしたのは大学生の時です。ワルシャワの大学から週末にクラクフの実家にもどると、郊外のアウシュビッツの案内を頼まれました。一九八〇年代の終わりごろで、ベルリンの壁崩壊の前でした(壁崩壊は八九年十一月)。ワルシャワ条約機構加盟国以外からは、簡単にポーランドに入国できなかった時代です。

見学者も、今と比べると格段に少なく、アウシュビッツは静かな場所でした。アウシュビッツから三キロ離れた第二収容所のビルケナウまでは、現在のようないくつかのバスもなく、広大な敷地内では他の見学者に出会わないこともあり、見学にはまる一日かかりました。

アウシュビッツの「痛み」もまだ鮮明でした。戦後、最初にガイドを務めたのは収容所からの生還者でした。八〇年代当時は、彼らが育てた第二世代のガイドの時代でした。

私が出会ったそうしたガイドは、見学者の中でおしゃべりする人がいれば厳しく注意し、ガムをかんだりポケットに入れたりしたまま見学するなんて論外でした。彼らにとってアウシュビッツの案内は、訪れたお客さんのためではなく、ここで苦しんで亡くなった犠牲者のためにおこなう、という意識が強かったと思います。

大切なのは犠牲者の思い

見学者が毎年二百万人にもほる現在では、だいぶ様子が変わってきています。携帯電話で話をしながらの見学、死の壁の前やガス室の中でポケットに手を入れたまま見学している人も目にします。当時は犠牲者の尊厳が理解できないとされる十四歳以下の子どもの見学は制限されていましたが、いまでは子どもたちも乳母車も見かけます。アウシュビッツの見学が容易になったのはとても良いことなのですが、お客様への対応は、大変難しくなりました。

一番目に付くのは「ポーズ写真」を撮る人たちです。遺体焼却炉を覗くポーズ、収容者の逃亡を防ぐための電気柵に触るポーズ、収容者を運んだ鉄路に横たわるポーズ、などどきりがあります。「見学」ではなく「観光」だと言いつつ、ビールを飲んで訪れる人には言葉が失います。

私からガイドを引き継ぐ娘ユステイナには「人類の犯した過ちを案内するとき、その犠牲者の思いを置き去りにしたら無意味になる」と教えています。「アウシュビッツでのふさわしくない行動には、黙っていないで大声で注意しなさい」とも。

でも、日本のお客様でそうした行動をとる方はほとんどいらっしやらないので、娘が大声を出すこともないでしょう。





アモーレ!イタリア9日間

～ベネツィア・フィレンツェ・ローマ～

1. 生涯一度は行きたい、イタリア人気の3都市に滞在

「アドリア海の真珠」などと称えられるベネツィア、ルネッサンスの栄華を今に伝える花の都フィレンツェ、永遠の都ローマ。3都市に加え、バチカン市国、ナポリ&ポンペイ、ピサも訪れます。

2. 現地手配者の顔が見える、こころのこもった手づくりの旅

ベネツィア在住30年。現地旅行会社の代表であり、数少ないベネツィア公認観光ガイドの鈴木徳郎さんが旅全体をコーディネート。「自然、食、芸術、そして歴史と文化の魅力あふれるイタリアの本当の良さを味わえる旅のお手伝い」が彼のモットー。暮らしてみないと分からないイタリアこぼれ話が聞けるのも楽しみ。

3. 各都市連泊、少人数で身もこころもゆとりの旅

旅の面倒は何と言っても荷造り。連泊を基本にしていますので、観光をめいっぱいお楽しみ頂けます! 大人数では決して行けないレストランや穴場のスポットにご案内したり、一般家庭を訪ねたり、少人数だから出来るおもてなしが散りばめられた旅。

- 10/21 成田又は羽田発、一都市経由でベネツィアへ **【ベネツィア】**
- 10/22 ベネツィア島内観光(サンマルコ寺院、ドゥカーレ宮殿など)。鈴木さんと夕食交流(予定) **【ベネツィア】**
- 10/23 フィレンツェへ。フィレンツェ市内観光(ウフィツィ美術館、花の聖母教会など) **【フィレンツェ】**
- 10/24 ピサ観光(ピサの斜塔など)。フィレンツェに戻り、家庭訪問&交流(予定) **【フィレンツェ】**
- 10/25 午前:フィレンツェ、自由行動、午後:ローマへ **【ローマ】**
- 10/26 ナポリ&ポンペイ日帰り観光(ナポリ湾、ポンペイ遺跡) **【ローマ】**
- 10/27 バチカン&ローマ市内観光(バチカン博物館、コロッセオ、スペイン階段、トレビの泉、真実の口など) **【ローマ】**
- 10/28 ローマ発、直行または一都市経由で帰国の途に **【機中】**
- 10/29 成田または羽田着

※逆回りのコースになる場合もございます。その場合も訪問箇所に変更はございません。

【利用予定航空会社】 アリタリア航空、KLMオランダ航空、エールフランス航空、ルフトハンザ航空、スイス航空
【利用予定ホテル】 下記または同等クラス: MEDITERRANEO (ローマ)、ADLER CAVALIERI (フィレンツェ)、SAVOIA & JOLANDA (ベネツィア)
【食事】 朝7食5夕4

旅行日程	10月21日(月)～29日(火)
旅行費用	後日発表(成田または羽田発着基準) ※燃油・空港諸税、一人部屋追加料金別途
定員	15名様(最少催行10名様)
申込締切	8月23日(金) 定員になり次第締切
添乗員	同行いたします



池田香代子さん(ドイツ文学翻訳家)同行 『夜と霧』、ケストナーのふるさとドレスデンも訪れる アウシュビッツ・ベルリンの壁崩壊30年 平和と文学の旅

1. 日本人ガイドの案内でアウシュビッツ・ビルケナウ見学(ポーランド)

日本人で唯一人のアウシュビッツ博物館ガイド・中谷剛さんの案内。世界中で読み継がれている精神科医フランクルの収容所体験記『夜と霧』の翻訳家・池田香代子さんがビルケナウ第二収容所の奥まで詳しく説明。

2. ベルリンの壁崩壊30年(ドイツ)

2019年はベルリンの壁崩壊30年。ブランデンブルク門、ユダヤ人ホロコースト記念館訪問。ドレスデンでは反ナチスで国民に人気のあったケストナーの生家へ。

3. テレジン収容所のプラハ(チェコ)

「アウシュビッツが地獄ならテレジンは地獄の控室」と言われたプラハ郊外のテレジン収容所訪問。ここからアウシュビッツに約8万人が移送されました。

- 5/13 伊丹からは羽田で合流、ミュンヘン経由でクラクフへ **【クラクフ】**
- 5/14 クラクフ市内観光、シンドラー博物館 **【クラクフ】**
- 5/15 アウシュビッツ第一強制収容所、ビルケナウ第二絶滅収容所 **【クラクフ】**
- 5/16 クラクフからミュンヘン経由でベルリンへ **【ベルリン】**
- 5/17 ベルリン市内観光 **【ベルリン】**
- 5/18 ベルリンからドレスデン、市内観光、聖母教会、ケストナー博物館、プラハへ **【プラハ】**
- 5/19 テレジン収容所、プラハ市内観光 **【プラハ】**
- 5/20 プラハからミュンヘン経由で帰国の途へ **【機中】**
- 5/21 羽田到着後解散、関西からの参加者は伊丹空港へ

【利用予定航空会社】 ルフトハンザ航空
【利用予定ホテル】 下記または同等クラス: グランド(クラクフ)、ホリディンベルリン(ベルリン)、オキシデンタル(プラハ)
【食事】 朝7食5夕6



旅行日程	5月13日(月)～21日(火)
旅行費用	398,000円(羽田・伊丹発着同料金) *一人部屋追加料金110,000円
定員	30名様(最少催行15名様)
申込締切	3月6日(水)
添乗員	同行いたします(羽田空港発着)



動物愛護施設訪問と交流

初めてのイタリアの旅 8日間

1. 動物を殺害・虐待すると動物保護法で罰せられるイタリア

2004年制定の動物保護法で、動物の殺害・虐待が禁止されたイタリア。ミラノ市立の動物保護施設を訪問しスタッフと交流。ベテランガイド佐々木紀子さんが同行。

2. 初めてのイタリア旅行にも最適

ミラノの最後の晚餐、フィレンツェのドゥオモ(聖堂)、ピサの斜塔、ローマのスペイン広場、トレビの泉、コロッセオ、バチカン市国のサン・ピエトロ大聖堂など、初めてのイタリア旅行にも最適なハイライト観光ツアー。

3. 直行便利用で各都市連泊

イタリアの航空会社の直行便利用。ホテルも各都市2連泊ずつで、身体にやさしいご旅行です。



- 10/15 成田から直行便でミラノへ **【ミラノ】**
- 10/16 ミラノ観光(大聖堂、アーケード、スカラ座、レオナルドダビンチ「最後の晚餐」鑑賞) **【ミラノ】**
- 10/17 ミラノ市立動物保護施設視察 ミラノからローマへ **【ローマ】**
- 10/18 ローマ観光(スペイン広場、トレビの泉、コロッセオ)、バチカン市国(サン・ピエトロ大聖堂) **【ローマ】**
- 10/19 ローマからピサの斜塔、フィレンツェへ **【フィレンツェ】**
- 10/20 フィレンツェ観光(ドゥオモ、ウフィツィ美術館) **【フィレンツェ】**
- 10/21 ローマへ移動し帰国の途へ
- 10/22 成田空港到着後、解散

旅行日程	10月15日(火)～22日(火)
旅行費用	398,000円(成田発着)
定員	15名様(最少催行10名様)
申込締切	7月12日(金)
添乗員	同行いたします

【利用予定航空会社】 アリタリア航空
【利用予定ホテル】 下記または同等クラス: クラウンプラザミラノマルベッサー(ミラノ)、ピリニウス(ローマ)、マジェステイク(フィレンツェ)
【食事】 朝6食5夕6



池田香代子さん(ドイツ文学翻訳家)同行 人間の鎖30周年 バルトの道 6日間

1. 200万人が手をつないで取り戻した自由

30年前、リトアニアの首都ビリニウスから、ラトビアの首都リガを経て、エストニアの首都タリンまで約600kmを200万人の人々が人間の鎖となって独立への強い意志を全世界に示しました。デモ当日の8月23日に鎖の起点となったビリニウス大聖堂を訪問。

2. 杉原千畝が6000人のユダヤ人の命を救ったカウナス旧日本総領事館

戦前、リトアニアからシベリア経由で亡命するために日本の通過ビザを求めたユダヤ人たちが。本省からの訓令に背いて領事館撤去の日まで「命のビザ」を発給し続けた杉原千畝の功績を偲びます。

3. 言語も宗教も文化も異なるバルト3国

カトリックでポーランドに近いリトアニアとハンザ同盟都市であったリガやタリンは、言語も宗教も文化も異なります。芸術様式・アールヌーボーの専門家でもある池田香代子さんが、ヨーロッパの歴史、文化そして平和について幅広く解説。

【利用予定航空会社】 フィンランド航空
【利用予定ホテル】 下記または同等クラス: ベストウェスタンヴィリニウス(ビリニウス)、ヨーロッパロイヤルカウナス(カウナス)、ヨーロッパロイヤルリガ(リガ)、パークインタリン(タリン)
【食事】 朝3食4夕3



- 8/22 成田・名古屋・関空を出発しヘルシンキ空港で合流、ビリニウスへ移動 **【ビリニウス】**
- 8/23 ビリニウス市内観光(聖ペトロパウロ教会・杉原通り・聖アンナ教会・大聖堂)、第9要塞、カウナス杉原千畝博物館(旧日本総領事館) **【カウナス】**
- 8/24 カウナスからシャウレイ(十字架の丘)、リガ市内観光(大聖堂・リガ城・猫の家) **【リガ】**
- 8/25 リガからタリンへ、市内観光(ラエコヤ広場・トームペアの丘、アレクサンドルネフスキー教会)、さよなら夕食会 **【タリン】**
- 8/26 タリンからヘルシンキ経由で成田・名古屋・関空へ
- 8/27 各地到着

旅行日程	8月22日(木)～27日(火)
旅行費用	358,000円 (成田・名古屋、関空発着) *一人部屋追加料金60,000円
定員	20名様(最少催行10名様)
申込締切	6月21日(金)
添乗員	同行いたします



ベストシーズンに行く!

初めてのインド

7日間

北インド、人気の3都市
デリー・アグラ・ジャイプール周遊

年内お申込の方は
1万円引き!

1. インドが初めての方にお勧め

見逃せない観光スポットや世界遺産を満載。乾季で平均最高気温24℃の2月はインド観光のベストシーズン。

2. インド人を夫に持つベテラン添乗員が同行

インド人の親戚や知人宅を訪問するなど一味違ったインドをご案内。また、観光客向けでない穴場のショッピングにご案内し、大好評。

3. インド旅行は安心・安全が第一

全行程日本語ガイド&添乗員のダブルサポート。ホテルは全てデラックスで快適。

旅行日程	2019年2月17(日)~23(土)
旅行費用	12名様(最少催行10名様) 258,000円(成田発着基準) ※一人部屋代金:52,000円 ※燃油・空港諸税、ビザ代別途
添乗員	同行いたします
申込締切	2019年1月4日(金)

- 2/17 午前、成田発。インド航空にてデリーへ【デリー】
- 2/18 ピンクシティと呼ばれるジャイプールへ【ジャイプール】
- 2/19 ジャイプール市内観光とアンベール城見学。家庭訪問で交流【ジャイプール】
- 2/20 アグラへ。途中、世界遺産ファータープルシクリ見学。世界遺産のタージマハルとアグラ城見学【アグラ】
- 2/21 デリーへ。途中、マトゥラに立ち寄り、ガンジス川支流のヤムナー川で沐浴風景見学【デリー】
- 2/22 デリー市内観光。世界遺産のクトゥブミナール、フマーン廟など見学後、空港へ。夜、インド航空にて帰国の途に。【機中】
- 2/23 早朝、成田到着



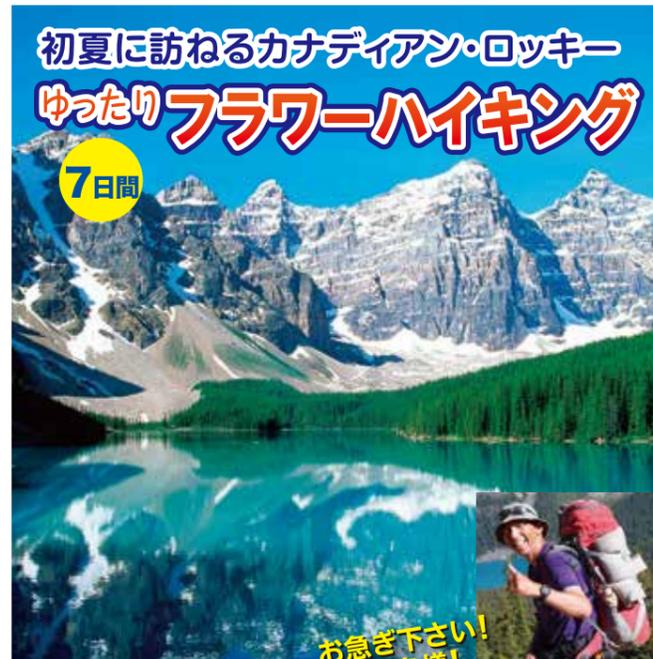
【利用予定航空会社】インド航空
【利用予定ホテル】下記または同等クラス
ITC DWARKA、LALIT (デリー)、ITC RAJPUTANA (ジャイプール)、ITC MUGHAL (アグラ)
【食事】朝5昼5夕5



同行添乗員紹介:小久保千代子
海外添乗員歴28年。インド人と結婚、夫と共に人気インドレストラン「アヒリア」を切り盛りします。豊富な知識と経験、明るく世話好きな性格は多くのお客様から厚い信頼を得ています。

お客様の声

お腹を壊すのでは?人混みに耐えられる?などインドは少々敷居が高かったのですが、インドを熟知した添乗員さんのお世話で安心。食事も美味しく、観光地も効率的に巡ることができて大満足!添乗員さんの親戚のインド人家庭を訪問し、温かいおもてなしを受けたことは生涯忘れられない経験となりました。



初夏に訪ねるカナディアン・ロッキー ゆったりフラワーハイキング

7日間

お急ぎ下さい!
限定7名様!

旅行日程	2019年6月10日(月)~6月16日(日)
旅行費用	7名様 378,000円(成田発着基準) 燃油・空港諸税、ETA(電子渡航システム)代別途
添乗員	同行いたします
申込締切	2019年2月28日(木) ※定員になり次第締切

- 6/10 夕刻、成田発エアカナダでロッキーの玄関口カルガリーへ。パンフのB&Bへ【パンフ】
- 6/11 カナディアン・ロッキー終日観光(コロンビア大氷原雪上車観光、レイクルイーズ、ペイトレイクなど)【パンフ】
- 6/12 終日ロッキー・フラワーハイキング。その日ベストな場所へご案内(グラスシーレイクス、ポーパラー州立公園などを予定)【パンフ】
- 6/15 午後、エアカナダでカルガリーから帰国の途に【機中】
- 6/16 午後、成田着

【利用予定航空会社】エアカナダ
【利用予定ホテル】Banff Squirrels Nest B&B (パンフ)
【食事】朝5昼4夕2



シルクロード満喫

ウズベキスタンの旅

8日間

旅行日程	3月19日(火)~26日(火)
旅行費用	298,000円(成田発着基準) (関空・名古屋その他地方都市発着ご相談ください) ※一人部屋追加料金48,000円
定員	15名様(最少催行8名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	2月19日(火)

【利用予定航空会社】大韓航空
【利用予定ホテル】下記または同等クラス:「ラマダ」「シティパレス」(タシケント)、「アジアサマルカンド」「エミールハン」(サマルカンド)、「アジアハラ」「グランドハラ」(ハラ)
【食事】朝6昼6夕6

1. 3月21日は、ナウルーズ祭

日本では春分の日。ウズベキスタンでも待ち遠しかった春の訪れをナウルーズ祭で盛大に祝います。街ゆく人々は笑顔にあふれ、民族衣装を着こなします。実はイスラム教のお祭りではなく、それ以前のゾロアスター教からの習慣だとか。さすが長い歴史を持つ国です。

2. 古くからの歴史を引き継ぐ、シルクロードの世界遺産

産業都市でレンガ色のプハラとウズベキスタンを代表する青のサマルカンド。マケドニアのアレクサンドロス大王、玄奘三蔵、チンギスハンにチムール王。この地の歴史は、太古から続く様々な時代を感じることができます。タシケントのナボイ劇場は日本人抑留者が建設、大地震にも耐えた堅固な建物です。

3. 小国ながらも独立国。その後の政策の成功モデル

食料自給率100%、医療費無料(大きな手術は有料)、教育費高校まで無料(大学は25%つまり5人に1人は、国費負担で無料。卒業後、公務員就職義務)、原子力発電ゼロ、天然ガス輸出国、車は国内生産し今や一家に2台所有。子どもを育てやすい環境から人口が増え35歳未満が全人口の2/3を占める将来有望の国。

- 3/19 成田からソウル経由でタシケントへ【タシケント】
- 3/20 タシケント市内観光(ナボイ劇場、チュルスーバザールなど)新幹線でサマルカンド【サマルカンド】
- 3/21 サマルカンドでナウルーズ祭鑑賞【サマルカンド】
- 3/22 サマルカンド市内観光(レギスタンス広場、ウルグベクメドレッセ、テリカメドリック、グリアミル廟(チムールの墓)、ピビハニモスク、アフラジャブの丘、ウルグベク天文台等【サマルカンド泊】)
- 3/23 専用車でプハラへ、午後プハラ市内観光【プハラ泊】
- 3/24 プハラ市内観光(カラミナレット、カラモスク、ミルアラブメドレッセ、ウルグベクメドレッセ、タキバザール、マゴキアツタリモスク、ラビハウス、アルク城、ナディールデパンベギメドレッセ、チャシムアイヨブなど)【プハラ泊】
- 3/25 プハラ→新幹線→タシケント、ガンダーラ仏が見ものの歴史博物館、空路ソウルへ【機内泊】
- 3/26 ソウルから成田空港へ



ベストシーズンに行く!

音楽と交流の旅 VIVA!キューバ

8日間

旅行日程	2月28日(木)~3月7日(木)
旅行費用	15名様(最少催行10名様) 388,000円(羽田発着基準) ※燃油・空港諸税、一人部屋追加料金、ツーリストカード代別途
添乗員	同行いたします
申込締切	1月25日(金)

- 2/28 夕刻、羽田発トロント経由でキューバの首都ハバナへ【ハバナ】
- 3/1 デイクアセンター、学校または幼稚園訪問&交流。ハバナ旧市街(世界遺産)観光【ハバナ】
- 3/2 トリニダーへ。トリニダー(世界遺産)観光後シンフェゴスへ【シンフェゴス】
- 3/3 シンフェゴス(世界遺産)観光後サンタ・クララへ。ゲバラ霊廟見学後バラデロへ【バラデロ】
- 3/4 キューバ随一のビーチリゾート・バラデロでのんびりした後、ハバナへ【ハバナ】
- 3/5 ヘミングウェイゆかりのコヒマル観光。キューバ人家庭訪問。日本語学生との夕食交流【ハバナ】
- 3/6 早朝、ハバナ発トロント経由で帰国の途に【機中】
- 3/7 夕刻、羽田着

1. キューバらしいキューバを見たいなら「いま」でしょ

アメリカとの国交が回復。アメリカ資本も次々と参入し、刻々と変貌するキューバ。名物のクラシックカーも姿を消してしまうかも? 旅人を魅了してきた「古きよきキューバ」が見られるのもあとわずか!?

2. モノはないけど、笑顔あふれる国

まだまだ貧しいキューバ。けれど人々は底抜けに明るい。それは、医療・教育は無料、最低限の生活が保障され将来に不安がないから。学校(幼稚園)、デイクアセンター、一般家庭などを訪ね、子どもとお年寄りが大切にされる国づくりの実際を見聞。

3. キューバ人いわく「音楽の無い人生はない!」

キューバの街角には、いつも音楽があふれ、それぞれが思い思いに自分流の音楽を楽しんでいます。うまい下手は関係ありません! キューバに行ったら歌って踊って、楽しまなきゃソンソン!です。



【利用予定航空会社】エア・カナダ
【利用予定ホテル】下記または同等クラス
Memories Miramar (ハバナ)、Jagua (シンフェゴス)、Memories Varadero (バラデロ)
【食事】朝6昼5夕5

又吉盛清先生(沖縄大学客員教授)と行く
新たな時代を求めて
沖縄・台湾・万国津梁の旅 6日間



- 万国津梁(しんりょう=架け橋)を目指した沖縄から台湾へ**
 平和外交を重んじた交易国家として、東アジアの共存共栄を目指した15世紀の琉球王国が国是としたのが「万国津梁」でした。その沖縄から台湾に渡り、日本・沖縄と台湾の関係史をひも解きます。
- 近くて遠い八重山と台湾。今回は直行便で**
 昭和の初め、台湾から八重山に入植した台湾人は農業の改良に貢献し、特にパイナップルは戦後沖縄の基幹産業に。しかし、1972年の沖縄返還までは無国籍者となり台湾に戻ることもできませんでした。今回の旅では石垣島から直行便で台北に。
- 台湾植民地時代の最大規模の抗日ほう起・霧社事件の現場に**
 1930年、沖縄人の巡査や教員も多かった台中・霧社(南投県仁愛郷)の原住民がほう起。日本側は機関銃、航空機、毒ガス弾で討伐、他の原住民や沖縄人巡査も使って凄惨な殺し合いをさせ、約700人が殺害されました。現地に関係者に話を聞きます。

旅行日程	2019年5月9日(木)~14日(火)
旅行費用	139,000円(羽田発成田着基準) 138,500円(伊丹発関空着基準) *燃油・空港諸税、一人部屋追加料金別途
定員	25名様(最少催行15名様)
添乗員	同行いたします

- 5/9 羽田・伊丹から那覇へ。万国津梁の鐘など見学 【那覇】
- 5/10 那覇から石垣へ。台湾移民の方との交流 【石垣】
- 5/11 直行便で台北へ。沖縄人集落跡など 【台北】
- 5/12 基隆、九份観光。夜市見学 【台北】
- 5/13 高速鉄道で台中へ。霧社事件の現場。高速鉄道で台北へ 【台北】
- 5/14 台湾総督府など見学。午後便で成田・関空へ



【利用予定航空会社】日本航空、中華航空
 【利用予定ホテル】下記または同等クラス：ナハナホテル&スパ(那覇)、兄弟大飯店(台北)
 【食事】朝5昼6夕4

小笠原好彦先生(滋賀大学名誉教授・考古学)同行
ミャンマー考古学&仏教専門家との懇談



- 世界三大仏教遺跡・バガンと民間信仰の聖地ポツパ山を訪ねる** 7日間
- 世界三大仏教遺跡&いまも人々の生活に根付く聖地バガン**
 11世紀から13世紀に栄えた仏教王国の中心、バガン。アンコールワットやインドネシアのボロブドゥール遺跡と並ぶ世界三大仏教遺跡。千もの仏塔は権力者ではなく、普通の民衆が財をなげうって築き上げました。
 - 天空にそびえる寺院・ナツ(精霊)信仰の聖地ポツパ山**
 バガン王朝時代から民間信仰・ナツ信仰の聖地、標高1500メートルのポツパ山。岩峰タウンカラツの頂には黄金の寺院。頂上に立つ寺院までの参拝やホテル周辺の緑の散策など思い思いに。
 - デラックス&リゾートホテルにゆったり滞在。小笠原先生のお話をたっぷり**
 滞在はデラックスホテルとポツパ山を望む人気のマウンテンリゾート。快適に過ごしながら、小笠原先生のお話やミャンマーの考古学、仏教の専門家との懇談。ただの観光とは一味違うこだわりの旅。

旅行日程	2019年3月18日(月)~24日(日)
定員	20名様(最少催行10名様)
旅行費用	221,000円(成田発関空着) 229,000円(関西発関空着) *燃油・空港諸税：成田4,200円、関西4,700円 *一人部屋追加料金：37,000円
添乗員	成田発関空又は関西発関空から同行
申込締切	2019年2月8日(金)

- 3/18 関空・成田からハノイ経由でヤンゴンへ 【ヤンゴン】
- 3/19 ヤンゴン市内見学 【ヤンゴン】
- 3/20 国内線でバガンへ。着後ポツパ山へ 【ポツパ山】
- 3/21 専用車でバガンへ。バガン遺跡見学 【バガン】
- 3/22 バガン遺跡見学 【バガン】
- 3/23 出発まで自由行動、国内線でヤンゴンへ、ハノイ経由で帰国の途 【機中】
- 3/24 早朝、日本帰着

【利用予定航空会社】ベトナム航空
 【利用予定ホテル】下記または同等クラス
 セドナホテル(ヤンゴン)、ポツパマウンテンリゾート(ポツパ山)、アマタガーデンリゾート(バガン)
 【食事】朝5昼5夕6



又吉盛清先生(沖縄大学客員教授)と行く
北京・重慶・南京・上海
歴史・文化と平和交流の旅 7日間



- 又吉先生とめぐる日中15年戦争**
 中国や東アジアの歴史と文化に精通する又吉先生と、盧溝橋事件(北京)から上海事変、南京大虐殺、重慶爆撃と日中戦争の要所をめぐる、東アジアの平和と友好の未来を考えます。
- 歴史とともに中国の今を知る旅**
 首都北京をはじめ、世界最大の都市・重慶、一流大学の集まる南京、中国の商業・金融・工業・交通の中心地・上海など、中国の今を知るには欠かせない諸都市を探訪、各地の料理や見どころも満載。
- 人との出会い・友情の深まる旅**
 又吉先生の人脈を通じた現地関係者との交流をはじめ、旅の仲間との楽しい交流を通じて、国境や出身地を越え、平和への思いと深い友情が芽生えること請け合いの旅。

旅行日程	2019年6月11日(火)~17日(月)
定員	25名様(最少催行15名様)
旅行費用	羽田発成田着349,000円 関空発着328,000円 お一人部屋追加料金60,000円 *燃油・空港諸税別途
添乗員	同行いたします(成田発着)
申込締切	5月10日(金)

- 6/11 羽田・関空から北京へ。盧溝橋、抗日戦争記念館など 【北京】
- 6/12 故宮、天安門、国子監など。夕刻重慶へ 【重慶】
- 6/13 三峡博物館、大爆撃惨案遺跡など。関係者と夕食交流 【重慶】
- 6/14 南京へ。大虐殺記念館、中山陵など 【南京】
- 6/15 南京国子監など。上海へ。外灘など 【上海】
- 6/16 魯迅記念館、黄浦江遊覧など 【上海】
- 6/17 成田・関空へ



旅行費用「羽田発成田着349,000円」「関空発着328,000円」
 【利用予定航空会社】中国国際航空
 【利用予定ホテル】下記または同等クラス：長富宮飯店(北京)、ヒルトン重慶ホテル(重慶)、グランドホテル(南京)、上海花園飯店(上海)
 【食事】朝6昼5夕6

小笠原好彦先生(滋賀大学名誉教授・考古学)同行
中国湖南省と湖北省の漢代・三国志の世界 7日間
 漢代の馬王堆漢墓と赤壁古戦場・荊州城を訪ねる旅



- 小笠原先生同行で漢代・三国志の世界へいざないます**
 分かりやすい解説と熱心な姿勢は多くのファンを魅了。考古学初心者も、極めた方も、同時に満足させるのは豊富な知識、経験、お人柄ゆえ。今回は漢代・三国志の世界を先生独自の視点で読み解きます。
- 先生お勧めの見学地をたっぷり**
 中国の湖南省は洞庭湖の南、戦国時代は楚国の一部。漢代は長沙国がわかれ、丞相の馬王堆漢墓が発掘されています。漢詩で著名な岳陽楼を経て、湖北省へ。魏の曹操軍と孫権・劉備軍が長江で戦った赤壁古戦場と関羽が死守した荊州城を訪れ、武漢市で黄鶴楼に登ります。各地の代表的な博物館を訪れ、先生の解説を交えながら見学します。

旅行日程	2019年9月20日(金)~26日(木)
旅行費用	近日発表(関空発着基準) *燃油&諸税、一人部屋代金別途
定員	25名様(最少催行15名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	7月31日(水)

- 9/20 関空発、中国の一都市経由で湖南省の長沙へ 【長沙】
- 9/21 長沙市内観光(長沙市博物館、簡牘博物館、馬王堆漢墓、湖南省博物館) 【長沙】
- 9/22 長沙から汨羅(べきら)へ。屈原祠見学後、岳陽へ。岳陽楼、魯肅墓見学 【岳陽】
- 9/23 岳陽市内観光(君山、二妃墓)後、湖北省へ。赤壁古戦場を見学し、荊州へ 【荊州】
- 9/24 荊州市内観光(荊州城、荊州市博物館、紀南城遺跡、楚王車馬陣景区) 【荊州】
- 9/25 武漢へ。武漢市内観光(盤龍城遺跡、湖北省博物館、黄鶴楼) 【武漢】
- 9/26 武漢発、中国の一都市経由で関空へ



【利用予定航空会社】中国東方航空、中国南方航空、キャセイ・パシフィック航空
 【利用予定ホテル】下記または同等クラス：金源大酒店(長沙)、国貿大酒店(岳陽)、金九龍大酒店(荊州)、亜州酒店(武漢)
 【食事】朝6昼5夕5

いまでも続く枯葉剤被害と被害者支援のとりくみ

鈴木 元

オレンジ村支援日本委員会
日本ベトナム友好協会全国常任理事

ベトナム戦争中、アメリカ軍によって大量に散布された猛毒のダイオキシン入りの枯葉剤。結合双生児として生まれたベトナム人、ドクちゃんなど、枯葉剤が原因と考えられる多くの障がい児が生まれた。戦争が終わって既に四十年以上。いまだに障がい児が生まれ続けており、ベトナム全土で三百万人に及んでいる。

ベトナムの主治医であったファン博士たちはアメリカ政府と枯葉剤を作った製薬会社を相手に損害賠償を求める裁判を三度起こしたが、いずれも門前払いされてきた。ベトナム政府は、枯葉剤被害者の会と連携して被害者支援を強めている。とくに今力を入れているのが被害者のための総合施設をハノイ(北部)、ダナン(中部)、ホーチミン(南部)に建設することである。治療、リハビリとともに、成長した障がい者が自立するための療育、職業訓練をおこなう施設になる。ハノイの施設は二〇一七年十二月に完成、現在はホーチミンの施設(通称オレンジ村)建設の具体化が図られようとしている。この取り組みを支援するためにオレンジ村支援日本委員会が結成された。募金とともに、オレンジ村で障がい者に対して職業訓練を行う専門家養成の取り組みへの援助をすすめている。全国の皆さんの協力をお願いしたい。

オレンジ村建設とチャリティーコンサート成功へ



ゲン・ドクちゃんとその家族



「J-POP」を応援をお願いします

オレンジ村(枯葉剤被害者のための職業訓練施設)建設支援とドイモイで発展するベトナムを訪ねる7日間

旅行日程	2019年8月1日(木)～7日(水)
旅行費用	近日発表(成田、関西空港など各地発着)
定員	40名様(最少催行20名様)
添乗員	同行いたします



- 1. オレンジ村建設支援チャリティーコンサート参加**
いまだに続く枯葉剤被害。300万人にも及ぶ被害者の生活と自立のための職業訓練施設・オレンジ村建設計画。その支援のためのチャリティーコンサート。日本とベトナム双方から多数の歌手など参加予定。
- 2. ドイモイ(刷新)で発展するベトナムのいまを訪ね若手経営者とも懇談**
社会主義建設を目指しドイモイ(刷新)事業をすすめるベトナム。その中で経済的に大きく成功し、枯葉剤被害者支援など社会貢献をすすめる企業家たちも生まれています。そんな企業の一つを訪ね、フレッシュな経営者とも懇談。
- 3. 世界遺産のハロン湾 クルーズ船滞在で絶景を満喫、船上のプライベートコンサートも**
旅の最後を飾る世界遺産のハロン湾クルーズ。おしゃれなクルーズ船で大小数百の島々に囲まれた鏡のような水面を持つハロン湾を満喫。ハロン湾の絶景をバックにしたプライベートコンサートも。

高齢や障がいの有無にかかわらず気兼ねなく出かけられるバリアフリーの旅

世界遺産のアンコールワット

高齢で足腰に自信がない、体力がない、車いすや杖が手放せない、さらには視覚や聴覚が不自由。様々な理由で旅をあきらめている方。ご家族旅行に引っしよに行けない方。今回はあこがれの世界遺産、アンコールワットで車いすサポーター研修を修了したガイド、手話通訳のできるスタッフなどが援助して、安心してアンコールワットの見学をしていただける旅のご提案です。(株)たびせんと提携する日本の現地手配会社が責任もってトラベルサポーター研修を実施したガイド、スタッフです。安心してご相談ください。

備考

- 料金…お一人十三万五千円～二十万七千円(現地ホテル、全食付、見学諸費用、2名のガイド付)
- 航空運賃別途。二〇一八年の場合は四万二千円～六万円(エコノミークラス)
- 燃油付加運賃、空港諸税、手配手数料は別途
- ご人数…3名様～5名様(人数についてはご相談ください)。なお車いすのお客様はお人を想定。お客様の障がいの程度によっては手配を受けかねる場合やサポートガイド増員(別途料金となります)の場合もあります。また研修を受けたサポーターガイドであり、ヘルパーではありません。トイレやお風呂での介助はできません。
- 利用予定ホテル…アンコールパレス(テラックスルーム) 5つ星ホテル
- バリアフリールームを6部屋完備。バスタブ付き
- 日本人スタッフも常駐。朝食も日本食のご用意が可能
- なお同じく5つ星のバリアフリーホテルで、バスタブなし、ダブルベッドによるしければ十二万八千円～十萬九千円のホテルもあります。お問い合わせください。
- 日本語ガイド…1グループに2名。さらにサポーターガイドの人数追加も可能
- 車いす…日本からの持参を想定。ただし現地でのレンタルも可能。

モデルコース アンコールワット5日間



- ①日本各地から航空機でカンボジア、アンコールワットの町シムレアへ
- ②終日、日本語ガイドとともにアンコール遺跡群を見学
早朝/アンコールワット朝日鑑賞。
午前/ゆったり、じっくりとアンコールワット見学。
昼食後ホテルにて休憩。
夕刻/アンコールワット周囲に広がる遺跡群見学と夕日鑑賞。
- ③終日、バイオン寺院とバンティアスレイ
午前/「クメールの微笑み」と呼ばれ、階段も多いバイオン寺院をサポーターとともに見学。日本国政府アンコール遺跡修復チームの専門家による解説付。
午後/昼食と休憩後、「東洋のモナリザ」と呼ばれるバンティアスレイ。
- ④終日、シムレア市内で自立に向けて努力するNGO訪問など
午前/国立博物館や現代の寺院見学。
オールドマーケット見学とアプサラダンス(王宮舞踊)継承や職業訓練をすすめるNGO訪問。
ホテルで休憩後、夜便で帰国の途に。
- ⑤早朝、日本各地着

アンコール遺跡群と車いす

アンコールワットをはじめとするアンコール遺跡群は石段や段差が多く、ご自身で歩けない、階段の上り下りができない方は、遺跡見学をこれまであきらめていました。その場合でも3名のサポーターをお付けすることでご見学いただけます。長距離の歩行は難しいけれど、少しは歩けるという方の場合には2名のサポーターでご見学いただけると思います。



東アジアの 平和を作っていく 主人公は私たち自身

民族問題研究所
金英丸さんインタビュー

二〇一八年八月二十九日、ソウル市龍山区に「植民地歴史博物館」がオープンしました。この日は一九一〇年に日本が韓国を植民地支配した、韓国では「国恥日」とされる日でもありました。同博物館は韓国の民族問題研究所などの市民団体を中心に準備されました。同研究所の対外協力チーム長・金英丸さんにお話をうかがいました。

Q 植民地歴史博物館とは、どのような博物館ですか？

金さん 強制動員（徴用工）問題で日本の市民運動との連帯が二十年以上も及び、その過程で収集された植民地時代の歴史資料をきちんと展示することはできないだろうか、という思いが、植民地歴史博物館の設立にまでつながりました。

この博物館は「官」の立場ではなく、韓国と日本の市民の寄贈資料など「民」の立場で作られた博物館です。植民地時代の韓日の一般民衆がどのようにその時代を生きたのかを、文字の歴史ではなく、実際の資料を通じて感じられる博物館です。

基本的な運営は、全国の会員一万三千人の会費で賄われています。そ

ないということは、植民地支配の過去の問題がまだ清算されていないことを意味します。北朝鮮にも植民地時代の強制動員被害者、「慰安婦」被害者、原爆被害者がいます。韓国は六五年の日本との国交正常化時に、当時の政権がこの被害者たちを見捨ててしまったという誤りによって、今も苦しむ被害者がたくさんいます。日朝の国交正常化の際には韓国の轍を踏まず、しっかりとした歴史清算をすることが重要です。

植民地歴史博物館が南北交流の場となり、日本とのネットワークの中で得られた運動の成果も南北で共有していきたいと思っています。

Q 韓国市民運動の力の源泉は何だと思えますか？

金さん 日本の明治の歴史は、日本にとっては近代化とともに東アジアのリーダーになった誇らしい時代になるのですが、アジア人の立場で見ると、朝鮮、北海道、沖縄、台湾を侵略しながら成り遂げられた歴史なのです。植民地時代、朝鮮の市民の多くが日本に抵抗し、命をかけてたたかってきた伝統があります。韓国の民主主義が日本の民主主義と異なる点は、植民地支配からの独立、解放運動の歴史をもつという点です。

解放後、不幸な南北分断の歴史の中で、八〇年の光州民主抗争に触発された八七年の民主化闘争まで、韓国は市民の力と犠牲で民主化を成し遂げてきました。「民主主義」という木は血を飲みながら成長する」という言葉がありますが、まさにこれまでの歴史はその犠牲を通して、一つ一つ市民の力で勝ち取ったものです。これらの力が朴槿恵政権を倒した「キャンドル革命」までつながったと私は思います。いずれかの個人や著名な政治家ではなく、市民の力によって少しずつ進歩してきたのです。

東アジアの平和なしには、日本の平和憲法を守ることができません。この観点から見ると、韓国と日本の市民社会は運命共同体です。緊密な関係の隣国として継続的な交流を



植民地歴史博物館入口に立つ金英丸さん

のとき、日本の市民たちが韓国の民主化運動に非常に大きな力になってくれました。これは韓国の民主化運動が世界に知られるきっかけともなりました。日本でも、こういう歴史を知らない人が多いのですが、単に日本の侵略の歴史だけではなく、日本の市民が韓国の民主主義を支援してきたという事実をぜひみていただきたい。

現在、来館者の七〇％は、会員ではない一般市民です。日本の方もたくさんいらっしゃいます。私はここが韓日市民の連帯交流の場になってほしいと思っています。

また、博物館が建つ龍山という場所は、植民地の歴史の出発点であり、当時は日本陸軍の駐屯地があり、強制動員された人々は龍山に集められました。解放後は米軍基地がおかれるなど、韓国の近現代史につながる場所です。歴史の生き証人は少なくなっていますが、それに代わる遺跡、場所を紹介して、歴史の真実を見ていくフィールドワークを重視しています。

Q 南北和解ムードの中で、植民地歴史博物館の役割は？

金さん 日本が国交を結んでいない唯一の国が北朝鮮です。国交がしていかねばなりません。しかしそのためにも歴史問題を抜きにしては両国の関係は一步も進展することができません。日本にもこのような歴史の問題を解決するために、平和憲法を守るために活動する多くの市民がいます。でも韓国の市民は、そのことについてはよく知りません。東アジアの交流が日本の平和憲法を守る大きな力になると私は思います。植民地時代の歴史を正すことが、日本の平和を守る問題と直結しているのです。

日本と韓国、東アジアの平和を作っていく主人公は、まさに私たち一人一人、自分自身ということなのです。

金英丸さん

九七年、北海道での「東アジア共同ワークショップ」に参加し、日本の市民運動と交流。二〇一〇〜一〇六年には高知の平和資料館「草の家」で働く。帰国してソウルの平和博物館で勤務し、一四年から民族問題研究所で活動。現在は対外協力チーム長として日本の市民社会との連帯事業に取り組んでいます。



行って見て、知った本当の姿と人々の優しさ & 現代の朝鮮通信使=日本通信使になりたい

二十歳の学生たちが 感じた韓国5日間



二〇一八年九月、関西の学生五人が取り組んだ韓国フィールドワーク。自分で見えて、感じて、交流しようと思った釜山からソウル、秀吉の侵略から朝鮮通信使、そして日本による植民地支配。出発前は期待以上に不安いっぱい。ツアーを通じて感じたことは…。

歴史を学んだ植民地歴史博物館&印象と 本当の韓国の姿のギャップをなくすきっかけに

A・Y

八月にオープンしたばかりの「植民地歴史博物館」。日本による植民地支配の歴史についても分かりやすく学ぶことができました。この博物館は協賛者のカンパにより開館。費用だけでなく、展示している資料も寄付とのこと。建物の外には協賛者の名前が刻まれた壁があり、いかに多くの人々がこの博物館を必要としていたのを感じました。

今、韓国を反日で危ない国だと思っている日本人も、K・P・O・P等最近の文化にしか興味を向けず日本人もいます。私は実際に韓国を訪問して、こちらも違っていたと思いました。韓国で出会った方々は日本人も日本文化も好きだけれど、日

える時間が多くある、日本とは違う、日本とのギャップを感じました。さまざまな資料を見て、説明を受けていくうちに私は心が苦しくなりました。「慰安婦」被害者が暗くて狭い部屋に閉じ込められていたこと、日本軍の兵士が部屋に近づいてくる足音にいつも怯えていたことです。その部屋を再現したものがあり、私も入ってみました。とても長く居ることが出来る場所ではありません。日本軍が「慰安婦」の人びとを二つの道具として扱っていたと聞いたとき、なんて悲惨なことだろう、このまじなことを今まで知らなかったことを申し訳なく感じました。

今回現地に行かなくては分からないことをたくさん学ぶことができました。歴史を捻じ曲げたままで受け継いでいくのは良くないです。少しでも多くの人たちが、真実を知ろうと行動を起こすことが大切だと思います。貴重な経験がた

ハルモニの力強い握手とやさしい笑顔 自分の目で見て肌で感じたこと

Y・K

日本軍「慰安婦」であったハルモニ(おばあさん)たちが共同生活されているナムの家を訪ね、ハルモニにお会いできたことは、この旅で最も貴重な体験となりました。資料や映像、展示物、ガイドさんのお話から歴史の教科書では知ることがなかった事実を深く知ることができました。お会いしたハルモニの力強い握手とやさしい笑顔は帰国した今でも強く記憶に残っています。

毎週水曜日日本大使館前では「慰安婦」問題の解決を求め、デモがおこなわれています。私たちが参加した水曜集会は中学生が主催となって開かれていて、多くの学生さんが参加していた。デモと耳にする物騒なイメージを持っていましたが、水曜集会がテーマソングに合わせたダンスや演奏で始まり、その和やかな場の雰囲気に驚きました。

現代はインターネットでなんでも調べることが出来る時代ですが、こうして自分の足でその土地へ行き、自分の目で見て肌で感じるこの大切さを改めて感じた旅でした。

優しさにじかに触れ、韓国をもっと好きに

A・Y

「反日教育がすごい」と言われているけれど本当のところなのか「本当であれば

本の政府は嫌いだ」とおっしゃっていました。私は日本も韓国も好きなので、日韓関係の向上を望みます。そのためには、日本人の思う韓国の印象と本当の韓国の姿のギャップを無くすことが必要だと思います。

加藤清正が築いた城、

西生浦(ソセンポ)倭城に行こう

N・M

西生浦倭城に行くと、最初に目についたのは斜面に沿って続く石垣でした。上からの眺めも良く、町から海まで全て見渡せる。そんなところに西生浦倭城がありました。石垣しか残っていませんが、「普通に日本にありそうなお城という印象でした。ほんとに手が付けられず、そのままの状態が残されています。」

豊田秀吉の朝鮮侵略については日本史のごく一部分としてしか学ばず、深く考えたこともありませんでした。豊田軍が朝鮮半島においてこのような戦いをしたのが当時、現地に住んでいた人たちがどのような被害にあったのかも。だからこそ、この旅で考える機会ができたことにとても感謝しています。この旅で、日本と韓国の歴史を学ぶと同時に日本と韓国が切っても切れない関係であるというのを再確認しました。実際に現地に足を運び、自分の目で見て学ぶことができ、本当によかったです。この経験をこれからの学びにも繋げていきたいと思います。

K・P・O・Pではまった韓国から「慰安婦」問題の衝撃、 歴史の真実へ

K・O

高校生の頃にハマったK・P・O・P。大学の授業で初めて知った「慰安婦」問題。衝撃を受けました。そしてもっと知りたい、真実がどんなものであったのかが気になり参加したのが韓国フィールドワーク。

元「慰安婦」のハルモニが暮らすナムの家で見た「デコには、私よりも年下の学生たちが写っていました。韓国では若い人たちが「慰安婦」問題について考

た。

実際に行くとイメージと違った一番のことは「慰安婦」問題でした。「水曜デモ」に参加して驚いたことは、学生が主体となって開催していることです。韓国の学生はしっかりと政治や歴史に向き合っている、尊敬できました。壇上で発言もさせていただきました。自分たちが日本人であることを名乗り、「慰安婦」問題について語った際、嫌われるんじゃないか「白い目で見られるんじゃないか」とそんな気持ちでいつばいでした。だけと発言中の真剣な眼差し、相槌、終わった後の歓声と拍手。私たちの意見や感じたことも理解してくれたんだなと思うことが出来ました。ナムの家で「慰安婦」の方とお会いした時も、日本人の私たちを見てどう反応されるのかすごく心が痛く心配でした。実際にお会いするところでも笑顔で迎えてくれたり何回も抱きしめてくれたり、ぎゅっと手を握り締められました。本当にこの問題が解決されてほしい、事実を知ってほしいと心から思いました。

「慰安婦」問題をはじめ韓国に対しての捉え方、考え方が変わりました。様々な歴史館や博物館を見たり、たくさんの方と話し合ったからです。韓国の方の優しさにも直に触れることができ、私は韓国という国がもっと好きになりました。私たちが日本と韓国をつなぐ、朝鮮通信使ならぬ日本通信使になりたいと感じさせられるツアーになりました。より深く考えるため、韓国語や文化を理解していかないと努めたいと思います。



韓国の青年たちと



秀吉の「朝鮮出兵」を考える 歴史と友好の旅 5日間

一佐賀名護屋城・吉岐・対馬・韓国倭城一

1. 佐賀の名護屋城から吉岐・対馬の出兵、韓国南部の倭城

旅のスタート・佐賀・名護屋城、出兵として築かれた吉岐・対馬の城跡、釜山近郊に加藤清正らが築城した倭城。各地の文化財課の方々の協力のもと、案内もしっかり丁寧に。

2. 「朝鮮出兵」・侵略の道は、古代以来、交流と友好の舞台

訪ねる地域は古代以来の友好への努力の舞台。卑弥呼の時代『魏志倭人伝』で唯一都が特定されている吉岐の「支国(いきこく)」。国の特別指定で復元された王都などもじっくり見学。

3. 春暖の季節、海の幸もたっぷり

暖かな春の日差しのもと、徒歩見学にも気持ちの良い季節。韓国郷土料理や港で獲れる新鮮な魚介料理にも舌鼓。釜山の市場は見て歩くだけでも楽しめます。

旅行日程	2019年4月18日(木)～22日(月)
旅行費用	172,000円(羽田発・成田着) 162,000円(伊丹発・関西着) *燃油・空港諸税、一人部屋追加料金別途
定員	30名様(最少催行20名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	3月1日(金)

- 4/18 羽田・伊丹から福岡空港へ。名護屋城博物館見学。夕刻フェリーで吉岐(印通寺)へ 【吉岐】
- 4/19 一支国博物館、勝本城見学。昼、高速船で対馬(厳原)へ。清水山城跡、対馬歴史民俗資料館見学 【対馬】
- 4/20 住吉神社、韓国展望台など見学。午後、高速船で釜山へ。東萊邑城壬辰倭乱歴史館、龍頭山公園見学 【釜山】
- 4/21 釜山から晋州(チンジュ)へ。晋州博物館見学。晋州から泗川(サチョン)へ。泗川船津里倭城見学。夕刻釜山へ 【釜山】
- 4/22 蔚山の西生浦倭城見学。昼食後、成田と関西に分かれて帰国の途に



【利用予定航空会社】日本航空、エアササ
【利用予定ホテル】下記または同等クラス【吉岐】吉岐ビューホテル(吉岐)、対馬グランドホテル(対馬)、海雲台グランドホテル(釜山)
【利用バス会社(国内)】西鉄観光バス、吉岐交通、対馬交通
【食事】朝4食4夕4



ゆかりの地訪問と新たな対話 平和の流れを実感する韓国 4日間

韓国3・1独立運動100周年

1. 3・1独立運動ゆかりの地を訪問

3・1当日のソウルでのイベントで当時の独立運動を体感。独立運動中の堤岩里教会虐殺事件の現場、韓国のジャンヌダルクとも言われる柳寛順の生家などを訪れます。

2. 植民地歴史博物館をじっくり見学

2018年8月に開館した、源資料が豊富な植民地歴史博物館をじっくり見学。ソウルで歴史フィールドワークも。

3. 3・1精神を受け継いだ民衆の力

解放後の南北分断の中、韓国では軍事独裁の政治が。民衆のたたかいは、1987年にはついに「民主化宣言」をかちとります。その過程もたどります。

旅行日程	2月27日(水)～3月2日(土)
旅行費用	127,000円(成田発羽田着) 120,000円(関空発着)
定員	30名様(最少催行15名様)
添乗員	同行いたします

- 2/27 成田・関空からソウル(仁川)へ。植民地歴史博物館を見学、フィールドワーク 【ソウル】
- 2/28 堤岩里教会、柳寛順の生家へ 【ソウル】
- 3/1 ソウル市内のイベントで独立運動を体感、近現代史記念館見学、キャンドルデモ関係者との懇談 【ソウル】
- 3/2 自由行動で、安重根記念館、戦争と女性の人権博物館、李韓烈記念館などをご案内、昼食後、金浦空港から羽田、関空へ



【利用予定航空会社】大韓航空
【利用予定ホテル】ソウルセンターマークホテル、または同等クラス
【食事】朝3食2夕3



感動!大自然&ふれあい モンゴル紀行 5日間

1. 遊牧民に嫁いだ日本人との交流

映画「白い馬」の舞台・ウンドゥルシレットキャンプのゲルに2連泊。トゥーラ川が大草原を流れるこのキャンプはまさにモンゴルのイメージそのもの。キャンプの切り盛りは遊牧民に嫁いだ日本人・小山久子さん。彼女を虜にした遊牧生活のあれこれを聞きます。

2. 乗馬、カヌー、ゲル訪問など、様々なアクティビティ

乗馬、カヌー、ゲル訪問、星空観賞、伝統音楽・馬頭琴とホーミー鑑賞など様々なアクティビティをお楽しみいただけます。

3. ベストシーズンに訪れるモンゴル

モンゴルのベストシーズンは6～8月。大草原の空気を体いっぱい感じて、つかの間の輝いた季節をお楽しみください。お天気が良ければ満天の星空がご覧いただけます。

旅行日程	2019年7月3日(水)～7日(日)
旅行費用	258,000円(成田発着基準) *一人部屋代金:12,000円(ウランバートルのみ) *燃油・空港諸税別途
定員	12名様(最少催行10名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	2019年4月30日(火)

- 7/3 成田発、モンゴルの首都・ウランバートルへ 【ウランバートル】
- 7/4 ウンドゥルシレットへ移動。午後、遊牧民ゲル訪問&交流。宿泊はツーリストキャンプのゲルに2連泊 【ウンドゥルシレット】
- 7/5 終日、これぞモンゴルという空間でのんびりお過ごし下さい。カヌーや乗馬体験も可能。夜は星空のもと、伝統音楽鑑賞【ウンドゥルシレット】
- 7/6 ウランバートルへ戻ります。一般家庭訪問&交流。市内観光(ガイサン丘・スフバートル広場・ガンダンテ寺など) 【ウランバートル】
- 7/7 朝、ウランバートル発、成田へ



【利用予定航空会社】モンゴル航空
【利用予定ホテル】下記または同等クラス: Khuvsgul Lake Hotel (ウランバートル)、Undershireet Riverside Camp(ウンドゥルシレット)
【食事】朝4食3夕4



ヒマラヤに抱かれた国 ネパール紀行 8日間

1. ベストシーズンのネパール

ネパールと言えば、まずはヒマラヤ。乾期のこの季節はヒマラヤが見られる確率は高い。3月の平均最高気温24度、平均最低気温は8度、降水量は30mm。

2. カトマンズ2連泊、ポカラ3連泊でゆったり

日の出鑑賞や遊覧飛行など何かと早起きが多くなるネパールの旅。連泊を基本に、ポカラ、ナガルコットは5つ星ホテル(山側のお部屋)に滞在。

3. ネパールに嫁いだ長谷川裕子さんアレンジ、日本人の気持ちに沿った旅

高山病の心配は?たくさん歩くのでは?料理は口に合うかしら? でも、心配ご無用。年配の方も安心してご参加いただける、ゆとりがあるのに見どころは抑えた旅。学校訪問や家庭訪問も長谷川さんならではの心配。

旅行日程	3月23日(土)～30日(土)
旅行費用	265,000円(成田発着基準) *一人部屋追加料金36,000円 *燃油・空港諸税、ビザ代別途
定員	12名様(最少催行10名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	1月31日(木)

- 3/23 成田発アジアの一都市で乗継ぎカトマンズへ 【カトマンズ】
- 3/24 OP:ヒマラヤ遊覧飛行(別料金)、ボダナート寺院★、バシュパティナート寺院★、午後、ホテルでゆっくり 【カトマンズ】
- 3/25 学校訪問&交流、一般家庭で手づくり昼食&交流、空路、ポカラへ 【ポカラ】
- 3/26 サランコット日の出鑑賞後、ホテルで休憩。午後、ワールドピースパゴダへハイキング 【ポカラ】
- 3/27 パウンダラ日の出鑑賞後、パウンダラ村をお散歩。民家を訪問し、チャイ・タイム。午後には湖畔散歩 【ポカラ】
- 3/28 空路、カトマンズへ。バクタプル★観光(旧王宮、ダッタトラヤ寺院など)後、ナガルコットへ 【ナガルコット】
- 3/29 ホテルからヒマラヤ日の出鑑賞後、カトマンズへ。カトマンズ★市内観光(スワヤンブナート寺院、クマリの館など)、アジアの一都市で乗継ぎ成田へ 【機中】
- 3/30 成田着 ★印は世界遺産

【利用予定航空会社】キャセイパシフィック航空、大韓航空、マレーシア航空
【利用予定ホテル】下記または同等クラス: グランドホテル・カトマンズ(カトマンズ)、ポカラ・グランド(ポカラ)、ミスティック・マウンテン(ナガルコット)
【食事】朝6食6夕5